能代市防災

ハザードマップ



能代市

はじめに

能代市は・・・・

令和３年３月

令和６年３月

※状況によっては危険想定区域外であっても被害が生じる可能性がありますので、十分注意してください。

目　次

索引図・使い方 ---------- 1
- ハザードマップ索引図
- ハザードマップの使い方

地域防災 ---------- 2
- 自助・共助・公助について

災害時要配慮者支援 ---------- 3
- 要配慮者と避難行動要支援者を地域で守ろう

避難時の心得 ---------- 4～5
- 警戒レベルと避難行動
- 非常用持ち出し品・備蓄品チェックリスト
- マイタイムラインを作ろう

地震・津波 ---------- 6～7
- 地震発生のメカニズム
- 震度と揺れ等の状況
- 地震対策
- 地震発生後の津波に注意

風水害 ---------- 8～9
- 外水氾濫と内水氾濫
- 浸水深の目安
- 家屋倒壊等氾濫想定区域について
- 警報等の発表基準
- 情報の伝達方法

土砂災害 ---------- 10～11
- 土砂災害の種類と特徴
- 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域
- 土砂キキクルの活用
- 土砂災害の予防策
- 土砂災害の避難ポイント

雪害 ---------- 12
- 除雪中の事故に気をつけましょう
- こんな日は雪崩に注意しましょう

火災 ---------- 13
- 火災に対する備え
- 火災発生！初期対応の３原則
- 火元別の消火方法

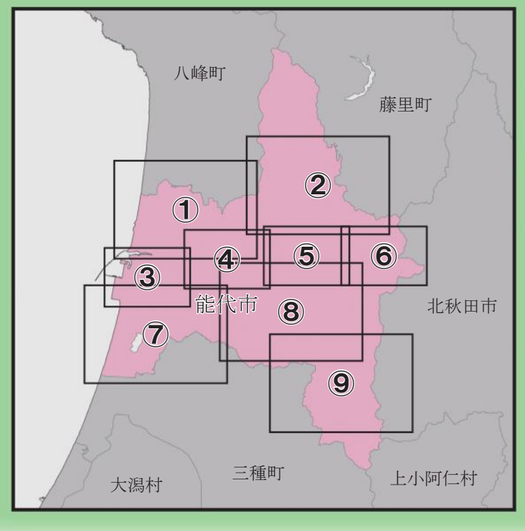
洪水・土砂災害マップ ---------- 14～33

津波警戒区域 ---------- 34～66

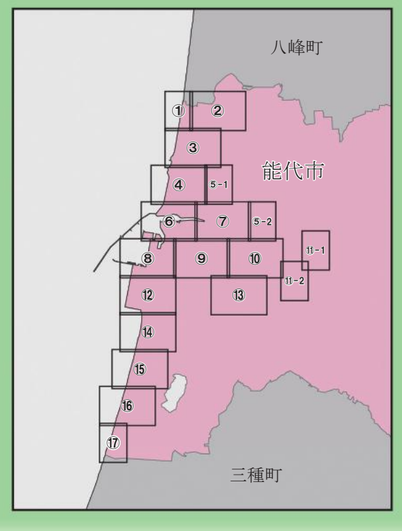
資料集 ---------- 67～69
裏表紙
- 災害・避難カード
- 避難所・緊急避難場所
- 要配慮者施設・福祉避難所
- わが家の防災メモ
- 主な連絡先

ハザードマップ索引図

洪水土砂災害マップ



津波警戒区域



ハザードマップの使い方

ステップ① 自宅の位置や避難場所を確認しましょう。

国道や県道の位置、学校や公共施設などの位置を参考に、自宅の位置や避難場所を確認しましょう。



ステップ② 自治会・町内会・自主防災組織等で一時避難場所を話し合いましょう。

災害が起こったときに、まず安全を確保するために避難する一時避難場所を、自治会、町内会や自主防災組織等で話し合いましょう。



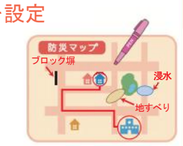
ステップ③ 地震や大雨のときに危険になる場所を確認しましょう。

古い家屋やブロック塀など、地震のときに危険となる場所、自宅周辺にある水路・橋や土砂災害警戒区域など大雨の時に危険となる場所を確認しましょう。



ステップ④ 危険箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

地震や大雨の時に危険となる場所を避けて、避難経路を設定しましょう。



※地震と大雨の時では、避難ルートが違ってくる場合も考えられます。

ステップ⑤ 実際に避難経路を歩いてみて、安全か確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な箇所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



ステップ⑥ 非常用持ち出し品や備蓄品を準備しましょう。

避難時の心得にある「非常用持ち出し品・備蓄品チェックリスト」の項を参考にして、避難するときに持ち出すものや備蓄しておくものを準備しましょう。



ステップ⑦ マイタイムラインを作りましょう

マイ・タイムラインとは、いざというときにあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくものです。



ステップ⑧ 災害・避難カードを作ってもしもの時に備えましょう

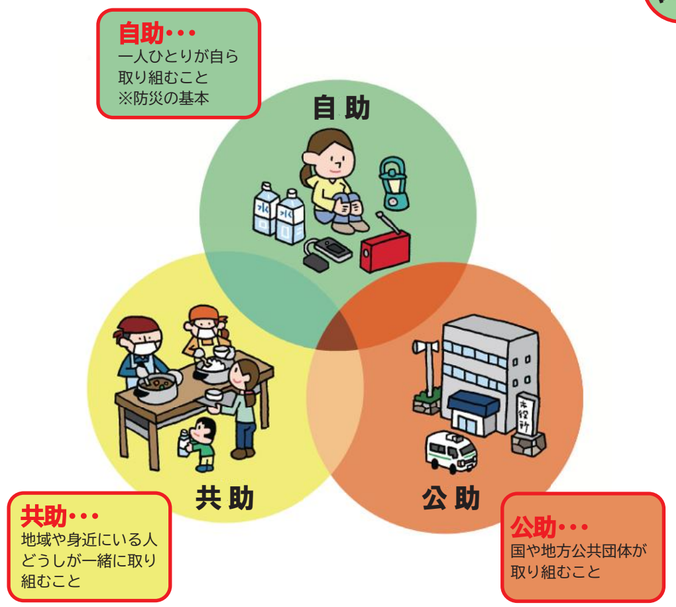
「災害・避難カード」とは、災害発生時に自分や家族の命を守る手順などを、一目でわかるように、自分で書き込むカードです。



地域防災

自助・共助・公助について

３つの連携が円滑なほど、災害の被害は軽減できます。



自助　自分や家族で防災活動

1 家族一人ひとりの役割分担
ふだんから役割を決めておきましょう。



2 家屋の危険箇所チェック
家の内外の危険個所をチェックしておきましょう。



3 家具の安全な配置と転倒防止策
家具の安全な配置換えや、家具の転倒などを防ぐため、家具を固定しましょう。



4 非常用持ち出し品の準備
必要な品がそろっているかチェックするとともに、新しいものとの取り換えも忘れないようにしましょう。



5 避難場所や避難経路の確認
最寄の避難場所や避難するときの経路を確認しておきましょう。また、家族の集合場所を決めておきましょう。



6 緊急時の家族との連絡方法
家族が離ればなれになったときの連絡先や連絡方法を確認しておきましょう。



7 訓練への積極的な参加
市や自主防災組織が実施する防災訓練に参加しましょう。



共助　隣近所や地域での防災活動

1 隣近所や自治会等での防災活動
一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という、「自主」、「自立」、「協働」の精神に基づいた防災活動を組織的に行うことが必要です。



2 自主防災組織の設立
「災害時、隣近所の人と力を合わせ、防災活動を行う自治会等の集まり」が自主防災組織です。



3 平常時のコミュニケーション
近所にどんな人が住んでいるのか、家族構成など隣近所同士が地域のふれあい活動などを通してお互いに分かっていることが防災の第一歩につながります。



自主防災組織の活動例

平常時の活動

1 地域内の安全点検
・地域内のパトロール
・地域箇所の点検
・地域防災マップの作成



2 防災知識の普及
・啓発チラシの作成、配布
・防災研修会などの開催



3 防災訓練の実施
・初期消火、避難訓練
・炊き出し訓練
・応急手当訓練



災害時の活動

1 初期消火活動
消火器やバケツ等による初期消火を行う。



2 避難の誘導
住民を避難場所などの安全な場所へと誘導する。



3 救出・救助
負傷者などを救出し、応急手当を行う。



4 情報の収集・伝達
行政機関と連絡を取り合い、情報を住民に伝える。



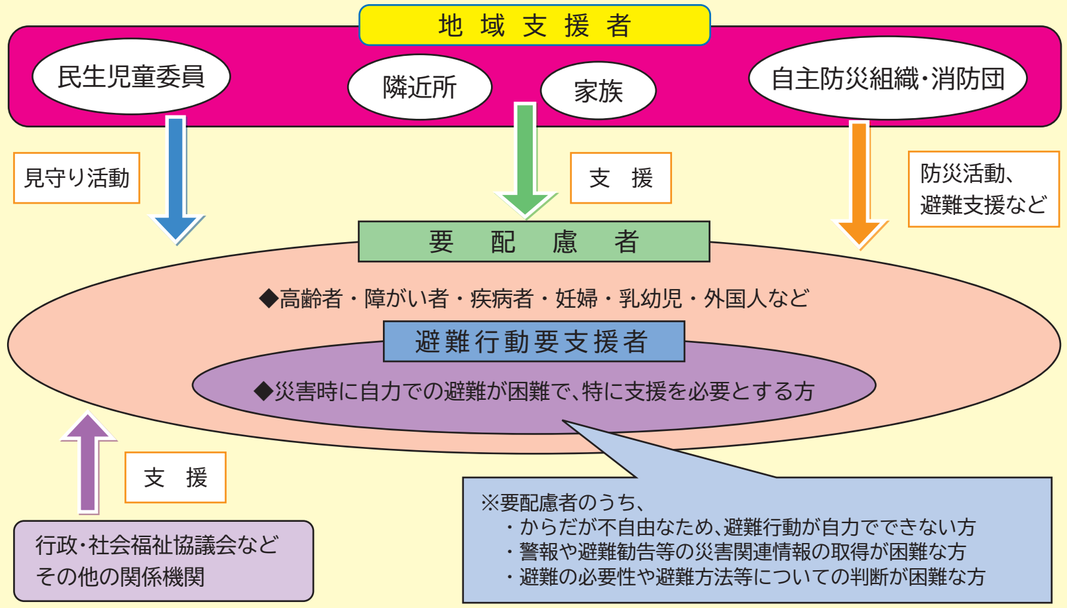
5 炊き出し等の活動
飲料水・食料などの配分、炊き出し等を行う。



災害時要配慮者支援

要配慮者と避難行動要支援者を地域で守ろう

要配慮者とは、高齢者や障がい者、疾病者、妊婦、乳幼児、外国人の方々など、災害時に特に配慮が必要な人たちです。
また**避難行動要支援者**とは、自力での避難が困難で、特に支援を必要とする人たちです。
要配慮者や**避難行動要支援者**の安全は、地域住民の協力があってこそ確保できます。



要配慮者の支援を行う際は・・・

高齢者や疾病者



- 複数の人で対応する。
- 緊急のときはおぶって避難する

耳が不自由な人

- 口を大きく動かし、はっきりと話す。
- 身ぶりや筆談などで正確な情報を伝える。

目の不自由な人

- つえを持つ手と反対側のひじのあたりに軽く触れるか、腕や肩をかして半歩くらい前をゆっくり進む。
- 階段などの障害物を説明しながら進む。

車いすを利用している人

- 階段では２人以上で援助する。上りは前向き、下りは後ろ向きで移動する。
- 救援者が１人の場合はおぶいひもなどを利用し、おぶって避難する。



外国人

- 身ぶり手ぶりで話しかけ、孤立させないようにする。

妊産婦・小さな子どものいる人

- どのような手助けが必要か、まず聞いてみる。
- 乳幼児を連れた人や妊産婦を見かけたら付き添うように心がける。



外国人の方へ

Disaster Information

外国語(がいこくご)の災害情報(さいがいじょうほう)

秋田県ホームページ
https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/43536

要配慮者を支援するときの心得

①相手を尊重する
援助だからといって、何でも押し付けをせず相手の立場を尊重しましょう。

②コミュニケーションをとる
相手の希望に沿うことができるように、密なコミュニケーションをとることを心がけましょう。

③笑顔で接する
笑顔は安心につながり、不安な気持ちを取り除きます。

④プライバシーを守る
相手の立場を尊重し、要配慮者の秘密は絶対に守りましょう。

⑤出来ない支援や無理な約束はしない
無理な約束などをしないようにしましょう。事故などにつながります。

⑥医療行為はしない
骨折の手当てや止血、要配慮者からの依頼に従って援助する。服薬を除き、薬を飲ませるなどの医療行為はしないように。医師などの専門家に相談しましょう。

避難時の心得

警戒レベルと避難行動

避難情報等（警戒レベル）

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
	＜警戒レベル4までに必ず避難！＞		
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）

	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
	浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	—
1相当	—	—

市区町村長は、河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

非常用持ち出し品・備蓄品チェックリスト

災害後の救助や救援物資の到着までに、最低限必要なものは準備しておきましょう。



Point
- ●非常用持ち出し品は、両手が使えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう。
- ●避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめましょう。
- ●自分や家族の状況に応じて必要なものを選びましょう。
- ●自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう。
- ●定期的に中身をチェックしましょう。

非常用持ち出し品 避難の際に持ち出すもの！

- ☐ 水
- ☐ 非常食
- ☐ 防災用ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 衣類・下着
- ☐ レインウェア
- ☐ 懐中電灯（※手動充電式が便利）
- ☐ 携帯ラジオ（※手動充電式が便利）
- ☐ 予備電池・携帯充電器
- ☐ 救急用品
  （ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ ブランケット
- ☐ 軍手
- ☐ 洗面用具
- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉
- ☐ タオル
- ☐ ペン・ノート

感染症対策にも有効です!!

- ☐ マスク
- ☐ 手指消毒用アルコール
- ☐ 石けん・ハンドソープ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 体温計

一緒に持ち出そう!!

- ☐ 貴重品
  （通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど）

備　蓄　品 家に備えておくもの！

- ☐ 食料品や水（最低３日分！できれば１週間分）×家族分
  保存期間の長いものを多めに買っておき、消費したら補填するという習慣にしていれば常に食料の備蓄が可能！
- ☐ 生活用品
  例えば、ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ・・・など

避難時の心得

避難時の心得

マイ・タイムラインを作ろう

「いつ」「何をするのか」をあらかじめ決めておくのが、マイタイムラインです。
台風や大雨、地震や津波における行動計画をたてましょう。

台風・大雨編

事前チェック

ハザードマップでチェック

お住まいの地域は？
- ☐ 浸水想定区域
- ☐ 土砂災害警戒区域

浸水深（想定最大）は？
川　　m

避難行動の検討

浸水想定・土砂災害警戒区域である
- いいえ → 屋内待機
- はい → ・建物が頑丈 ・マンション居住
  - はい → ハザードマップの最大浸水深等を考慮すると、垂直避難で安全が確保できる。
    - はい → 垂直避難（建物内の2階以上）
    - いいえ → 水平避難（立退き避難）
  - いいえ → 水平避難（立退き避難）

【注意事項】避難方法検討の目安です。浸水想定区域外でも浸水する場合や想定される浸水深を上回る場合もあります。
土砂災害警戒区域の場合、発生してから避難することは困難であるとともに、木造住宅を流出・全壊させるほどの破壊力を有しているため原則水平避難とします。

時間の目安：３日前　２日前　１日前　半日前

警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
雨や河川の状況	●雨が多く降る天気予報 ●台風が発生	●川の上流の水位が上がる ●台風が接近してきている	●近くの川の水が増えている ●台風による雨風の影響	●川の水が溢れそう ●台風の接近で風雨が強まる	●川の氾濫が発生 ●がけ崩れが発生
避難情報			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保 ※緊急安全確保は必ず発令するものではありません
気象情報		・大雨注意報 ・洪水注意報　等	・大雨警報　・洪水警報 ・氾濫警戒情報　等	・土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報　等	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報　等
※記入例	・テレビで水位情報や避難情報などを確認 ・ハザードマップで現在地の最大浸水深を確認 ・携帯電話の充電	・離れている家族に連絡 ・ハザードマップで安全な避難経路の再確認 ・ハザードマップで避難所を確認	・父の常備薬を確認 ・持出品を確認（現金・非常食など） ★警戒レベル4までに必ず避難すること！ ・次郎と父避難開始	・太郎と花子避難開始 ・次郎と父避難完了	・太郎と花子避難完了 ・離れた家族、知人に避難完了の連絡
マイ・タイムライン 台風・大雨編	自分が「いつ」、「何をする」のか書いてみましょう				警戒レベル4までに必ず避難
わたし（わが家）の避難行動計画					
避難行動のヒント	☐天気予報を確認 ☐避難先を確認（親戚、知人宅へ連絡やホテルの予約等）	☐避難用持出品を確認 ☐家の周りの飛びやすい物、壊れやすいものを屋内へ	☐避難に時間を要する人は避難を開始	☐避難開始	！屋内の安全な場所へ避難 ！命を守る最善の行動をとる

地震・津波編

事前チェック

ハザードマップでチェック

自宅は津波浸水区域内にある？
- ☐ ある　☐ ない

浸水深　　m

近くの津波来襲時緊急避難建築物（空地）もしくは高台は？
＿＿＿＿＿＿

避難行動の検討

津波浸水想定区域の場合は・・・
実際に避難するときどこへ避難するのか、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えてみましょう。

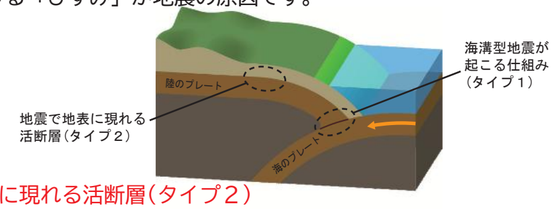
地震発生後、揺れがおさまったら
わが家は、津波警報・大津波警報を待たずに＿＿＿＿＿＿へ避難します
移動時間は＿＿＿＿時間です　（津波来襲時緊急避難建築物（空地）もしくは高台等）

経過時間	日頃の備え	地震発生	～3分	～30分	～3時間	～3日（避難所）
※記入例	・ハザードマップを参考に非常持出品を準備しておく ・ペットの避難方法を確認 ・貴重品の保管場所を確認	・火の始末をする ・丈夫な机の下に避難する ・海の近くにいたら高台へ逃げる	・エレベーターに乗っているときは全てのボタンを押す ・運転時は道路の左側に寄せて停車する	・緊急避難場所に避難する ※ハザードマップで確認しておくこと！ ・火事を見つけたら大声で知らせる	・自宅の様子が安全であれば自宅に戻って在宅避難する ・災害用伝言ダイヤル（171）やSNSを活用し無事を知らせる	・避難場所の設営に協力する
マイ・タイムライン 地震・津波編	自分が「いつ」、「何をする」のか書いてみましょう					
わたし（わが家）の避難行動計画						

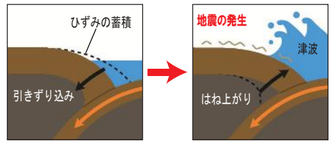
地震発生のメカニズム

地震発生のしくみ　※プレートの境界や周辺で生じる「ひずみ」が地震の原因です。

地球の表面は「プレート」と呼ばれる十数枚の固い岩盤で覆われ、それが１年に数センチ程の速さで一定の方向に動いています。
プレートがぶつかり合うところでは、伸び縮みなどのひずみが生じます。
そのひずみが地震を引き起こす原因です。日本では主に、２種類の地震が起こっています。



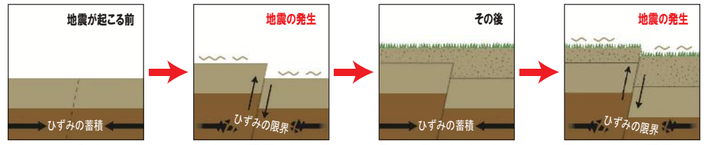
海溝型地震が起こるしくみ（タイプ１）



陸のプレートの先端が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する

ひずみが元に戻ろうとして地震が発生。津波を伴う場合もある

地震で地表に現れる活断層（タイプ２）



プレートの動きによる圧力がかかり、岩盤の弱いところにひずみが蓄積

ひずみが限界に達すると弱い所がずれて、地震が発生

長い年月をかけて別の地層が堆積し、断層のずれが分からなくなる

再びひずみが限界に達して断層がずれ、地震が発生する

震度と揺れ等の状況

0



［震度０］
- 人は揺れを感じない

1



［震度１］
- 屋内で静かにしている人の中には揺れをわずかに感じる人がいる。

2



［震度２］
- 屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。

3



［震度３］
- 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。

4



［震度４］
- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が揺れることがある。

5弱



［震度５弱］
- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

5強



［震度５強］
- 物につかまらないと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が倒れることがある。

6弱



［震度６弱］
- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

6強



［震度６強］
- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

7



［震度７］
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる

地震対策

家の中の安全対策

家具類の転倒・落下防止をしておこう
- 家具やテレビ・パソコンなどを固定し、転倒や落下防止措置をしておく。
- 重いものや割れやすいものは、高い場所におかない。



安全な空間をつくっておこう
- 寝室、子供やお年寄りの部屋は、優先して転倒防止金具で固定する。
- 玄関などの出入り口までの通路に、家具や倒れやすいものを置かない。

ケガの防止対策をしておこう
- 食器棚や窓ガラスには、飛散防止用フィルムを貼る。
- 避難に備えてスリッパやスニーカーを準備しておく。

家の周辺の安全対策



屋根
- 不安定な屋根のアンテナや屋根瓦は補修しておく。

ブロック塀・門柱
- 耐震性をチェックし、必要に応じて補修する。

ベランダ
- 植木鉢などの整理整頓を。落ちやすい場所には物を置かない。

プロパンガス
- ボンベを鎖などでしっかり固定しておく。

地震直後の５分間行動マニュアル

地震発生　そのときどうする？



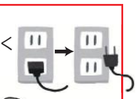
0分
- 机の下などにかくれる（身の安全）
- 火を使っていたらすぐに消す（火事を起こさない）
- ドアや窓を開ける（脱出口の確保）

1～2分（揺れがおさまったら）



- 出火していたら直ちに消火（初期消火）
- 家族の様子を把握
- 避難の必要があるときは靴をはく（ガラス等の破片対策）

3分（状況に応じて屋外へ避難）



- ガスの元栓を閉め。コンセントを抜く
- 頭を保護し、落下・転倒物に注意

5分（近所との連携）



- 消火活動
- 行方不明者、けが人の確認

上記行動はあくまで目安です。
例えば、津波が心配される海沿いの地域では、上記の経過時間どおりの行動では間に合わないため、すばやく海の近くを離れて高台へ向かうなど、状況にあわせた行動をとりましょう。

地震発生後の津波に注意

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ：数値での発表（津波の高さ予想の区分）	発表される津波の高さ：巨大地震の場合の発表	想定される被害と取るべき行動
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで３ｍを超える場合	**10m超**（10m＜予想高さ） **10m**（5m＜予想高さ≦10m） **5m**（3m＜予想高さ≦5m）	巨大	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。 **沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。**
津波警報	予想される津波の高さが高いところで１ｍを超え、３ｍ以下の場合	**3m**（1m＜予想高さ≦3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 **沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。**
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで０．２ｍ以上、１ｍ以下であって、津波による災害の恐れがある場合	**1m**（0.2m≦予想高さ≦１m）	－	海の中では人は早い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流出し、小型船舶が転覆します。 **海にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れて下さい。**

津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

津波警報等が出ている間は絶対に戻ってはいけません！

津波警報・注意報と避難のポイント

- 震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲う恐れがあります。ただちにできる限りの避難をしましょう。
- 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安全と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

外水氾濫と内水氾濫

住民のみなさんに被害を及ぼす水害には「外水氾濫」と「内水氾濫」があります。
これらの氾濫は、それぞれ発生する要因が異なるため、発生する場所や時間が異なります。発生する要因や状況を理解し、水害から身を守りましょう。

外水氾濫

堤防から水があふれ出したり、決壊するなどして、川の水が市街地や農地に流れ込む現象です。浸水の勢いが強く、氾濫は一気に拡大します。
この洪水ハザードマップは、外水氾濫を対象にしています。



内水氾濫

排水先の本流の水位が高くなり、支流の水が排水できずに宅地や農地にたまってしまう現象です。外水氾濫に比べ、勢いはありませんが、地盤の低い地域は注意が必要です。

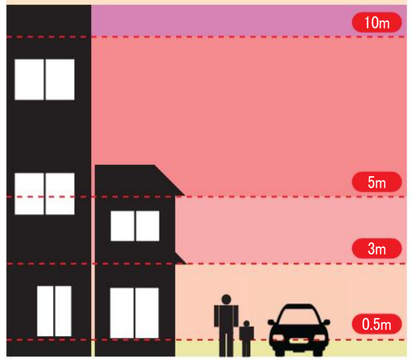


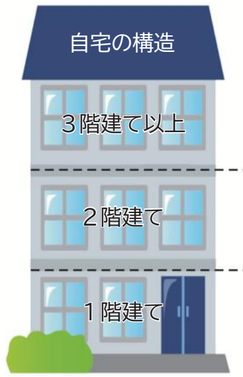
浸水深の目安

浸水深	浸水程度の目安
5.0m～	２階の屋根以上が浸水する
3.0～5.0m	２階の軒下まで浸水する
0.5～3.0m	１階の軒下まで浸水する
0～0.5m	床下浸水（大人の膝までつかる）

浸水深	自動車走行
50cm～	車が浮き、また、パワーウィンドウ付きの車では車の中に閉じ込められてしまい、車とともに流され非常に危険な状態となる。
30～50cm	走行に関し、問題はない。
10～30cm	ブレーキ性能が低下し、安全な場所に移動させる必要がある
0～10cm	エンジンが停止し、車から退出を図らなければならない。

浸水の深さの目安





浸水の深さ			
～0.5m	0.5m～3.0m	3.0m～5.0m	5.0m～
自宅待機も可	２階以上へ避難も可	３階以上へ避難も可	避難先へ避難
自宅待機も可	２階以上へ避難も可	避難先へ避難	避難先へ避難
自宅待機も可	避難先へ避難	避難先へ避難	避難先へ避難

家屋倒壊等氾濫想定区域について

洪水時に家屋が流出・倒壊等の恐れがある範囲で、指定された区域では屋内での退避（垂直避難）ではなく、避難所等への**立ち退き避難（水平避難）**が必要です。

氾濫流

家屋倒壊等氾濫想定区域

河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域です。

マップ表記



河岸浸食

家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水時の河岸浸食により、木造・非木造の家屋倒壊の恐れがある区域

マップ表記



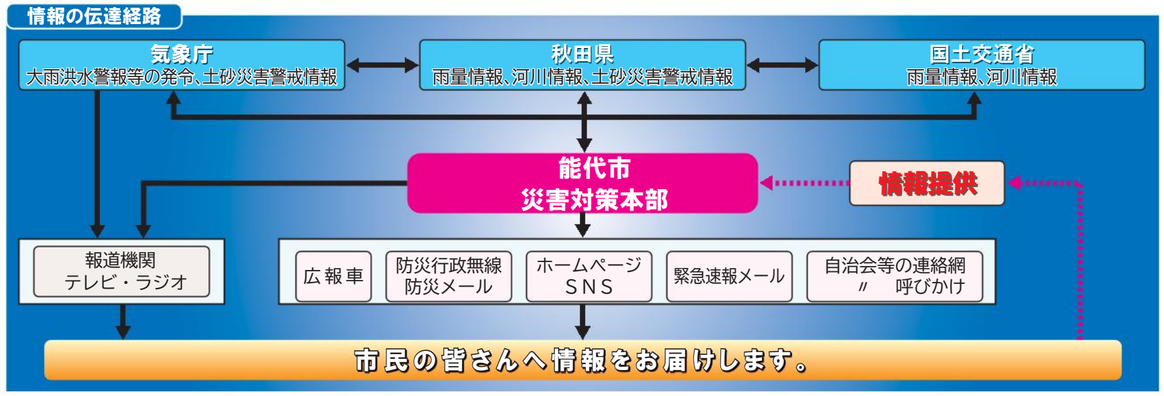
警報等の発表基準

気象状況	気象庁等の情報				能代市の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
	大雨特別警報		災害切迫（キキクル）	氾濫発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険　直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
	＜警戒レベル４までに必ず避難！＞						
数十年に一度の大雨	土砂災害警戒情報	高潮警報 高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	避難指示 第４次防災体制（災害対策本部設置）	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
大雨の数時間～２時間程度前	大雨警報（※） 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難 第３次防災体制（避難指示の発令を判断できる体制）	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する	3
大雨の半日～数時間前	高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	高潮注意報	警戒	氾濫注意情報	第２次防災体制（高齢者等避難の発令を判断できる体制） 第１次防災体制（連絡要員を設置）	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
大雨の数日～約１日前	大雨警報 洪水警報		洪水キキクルは大雨や洪水による災害の危険度を地図上で視覚的に確認できるサイトです。		・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1
	早期注意情報（警戒級の可能性）						

※夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル３（高齢者等避難）に相当します。

情報の伝達経路と防災関連情報の入手先

情報の伝達経路



防災関連情報の入手先

能代市役所
能代市の最新情報を提供
https://www.city.noshiro.lg.jp/

秋田県防災ポータルサイト
県内の被害状況や避難情報など
https://www.bousai-akita.jp/

秋田地方気象台
県内の気象情報、防災情報、観測情報など
https://www.jma-net.go.jp/akita/

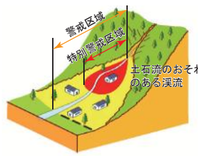
国土交通省「川の防災情報」
全国のリアルタイム雨量・水位の情報を提供
https://www.river.go.jp/

能代市防災メール登録
災害情報や市からのお知らせを配信
https://www.city.noshiro.lg.jp/kurashi/bosai-shobo/bosai-joho/16884

テレホンサービス
災害時、防災行政無線の放送内容をテレホンサービスで聞くことができます。※放送終了後24時間まで
テレホンサービス電話番号　0185－54－4890

土砂災害の種類と特徴

土石流



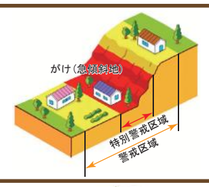
猛スピードでやってきます

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。
時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

土石流の主な前兆現象

- □ 山鳴りがする
- □ 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- □ 腐った土の匂いがする
- □ 降雨が続くのに川の水位が下がる
- □ 立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

がけ崩れ



一瞬にして崩壊します

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。
崩れ始めてから、崩れ落ちるまでの時間がごく短く、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、人命を奪うことの多い災害です。

がけ崩れの主な前兆現象

- □ がけにひび割れができる
- □ 小石がパラパラと落ちてくる
- □ がけから水が湧き出る
- □ 湧き水が止まる・濁る
- □ 地鳴りがする

地すべり



広い範囲に被害が及びます

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。
移動する土塊の量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。

地すべりの主な前兆現象

- □ 地面がひび割れ・陥没
- □ がけや斜面から水が噴き出す
- □ 井戸や沢の水が濁る
- □ 地鳴り・山鳴りがする
- □ 樹木が傾く
- □ 亀裂や段差が発生

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害が発生する恐れがあり、発生した場合住民に危害が生じる恐れがある区域
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）	土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域

土砂災害警戒区域では

警戒避難体制の整備



土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が速くできるように地域防災計画に定められ、警戒避難体制の整備が図られます。

土砂災害特別警戒区域では

建築物の構造規制



居室を有する建築物は、建築確認の制度が適用され、作用すると想定される衝撃等に対して建築物の構造が安全であるかどうか建築確認がされます。

特定開発行為に対する許可制



住宅宅地分譲や災害時要配慮者関連施設の建築のための行為は、基準に従ったものに限って許可されます。

建築物の移転等の勧告



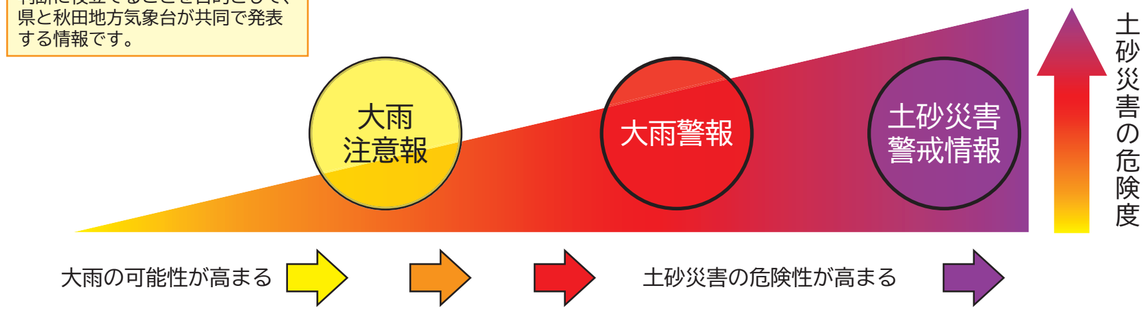
著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。
移転等については、住宅金融支援機構の融資等の支援を受けられます。

●土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生の危険性が高まった時に、市が防災活動や住民等へ避難勧告、避難情報等の発令を適時適切に行えるように支援すること、また住民の自主避難の判断に役立てることを目的として、県と秋田地方気象台が共同で発表する情報です。

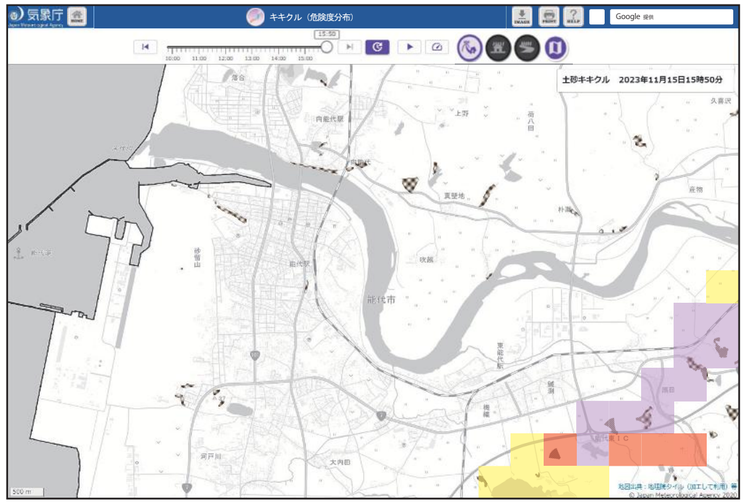
●避難情報等の発令を検討

土砂災害警戒情報の発表を受けて、市は気象状況の前兆現象や、土砂災害警戒区域等マップ（県補足情報）、土砂災害警戒判定メッシュ情報（気象庁補足情報）の危険度指数を総合的に判断し、住民に対して避難情報を発令します。住民へは防災行政無線や緊急速報メール（エリアメール）等を活用し、速やかに伝達します。



土砂キキクルの活用

土砂キキクルとは、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で５段階に色分けして示す情報です。常時１０分毎に更新しており、大雨情報（土砂災害）、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には２時間先までの予測値を用いています。「危険」（紫色）が出現した時点で、土砂災害警戒区域等の外へ避難することが重要です。



土砂災害の危険度分布 ～土砂災害から命を守るために～

気象庁ホームページで**リアルタイム**な情報を確認できます！

土砂キキクル　土砂災害警戒情報

気象庁ＨＰ
「土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険分布）」
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#erements:land/

土砂災害の危険度

災害切迫	【警戒レベル５相当】
危険	【警戒レベル５相当】
警戒	【警戒レベル５相当】
注意	【警戒レベル５相当】
今後の情報等に留意	

土砂災害の予防策

日頃から避難する場所や道路などを確認しておきましょう。
家の近くにがけのある方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。



土砂災害時の避難ポイント

がけ崩れの恐れがある場合

一般的にがけ崩れの土砂は、地面が平らなところはがけの高さの２倍の距離まで到達するといわれています。避難する場合はがけから**できるだけ遠く**に逃げてください。



土石流の恐れがある場合

渓流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、**流れと直角方向**に逃げましょう



● 屋外に避難する場合
避難の際には、土砂災害の危険があるところはできるだけ避けましょう。

● 屋内に避難する場合
屋外に出ることがかえって危険な場合は、２階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。

雪害

除雪中の事故に気をつけましょう

雪による事故の多くは除雪中に起こっています。
除雪中の事故の危険性を理解し、安全な対策を講じることが、事故を防ぎます。

除雪中の事故防止のための十か条

① 安全な装備で！

- 安全な装備は、屋根からの転落などの事故を未然に防ぎます。
- 安全帯は、腰全体支えるハーネス型や体全体を支えるフルハーネス型を使用しましょう。
- 命綱は、ザイロロープなど丈夫なものを屋根の上で止まる長さで正しく結びましょう。
- 命綱の一端は、アンカー（ない場合は雪下ろしをする屋根の反対側の柱や固定物）にしっかり固定しましょう。
- ヘルメットは、あごひもを締め、長靴は、滑りにくいものを使用し、動きやすい服装で作業しましょう。
- これらの装備は、ホームセンターや登山キャンプ用品店などで購入できます。



② はしごは固定する！

- はしごが転倒する事があるため、必ずしっかり固定しましょう。
- 足元をしっかり固め、ロープや器具を使用しましょう。
- はしごは、斜めに立てかけず、屋根に対して決められた角度でまっすぐ立てましょう。
- はしごの長さは、軒先から少し高くかけましょう。
- はしごの昇り降りは注意し、はしごから屋根に移動するときは特に注意しましょう。
- はしごの上で雪庇を落とすなどの作業は危険なため、絶対にやめましょう。



③ 除雪作業は２人以上で！

- １人での作業は、事故が発生した際に、発見が遅れる可能性があります。
- 発見が遅れると重大に事故につながる危険性が高くなります。
- 家族や親戚と一緒に複数人で除雪作業を行いましょう。
- 近所の方や地域コミュニティと協力して作業を行いましょう。



④ 足場の確認を！

- 屋根の雪止めの位置を確認してから作業を行いましょう。
- 落雪に巻き込まれないように、屋根の上から下ろしましょう。
- 滑りにくくするよう、雪は少し残して作業しましょう。
- 晴れていて気温が高い日は、滑りやすくなるため、特に注意しましょう。
- 水路等に転落する事故も増えているため注意しましょう。



⑤ 周りに雪を残して雪下ろし！

- 屋根から転落した際に、地面、アスファルト、コンクリート等に強打すると被害が大きくなる可能性があります。
- 落下した場所に積雪があることで被害を軽減することができる場合があります。
- 屋根の雪下ろしを行う場合は、雪下ろし後に住宅周りの除雪を行いましょう。

⑥ 屋根から落ちてくる雪に注意！

- 屋根から雪が落ちてくる可能性があるため、住宅の周りで除雪する際に軒下では注意しましょう。
- 屋根に雪が積もって時間が経つと、氷のように固くなり、直撃すると非常に危険です。
- 新雪や晴れて暖かい日の緩くなった雪は特に注意しましょう。
- 屋根雪を人力によらず落下させる落屑式住宅の場合は特に注意しましょう。

⑦ 除雪道具はこまめに点検を！

- スコップやスノーダンプなどの除雪道具は雪がつきにくくなるスプレーなどを使用するなど使いやすくしておきましょう。
- 除雪道具や安全対策用具が古くなり、壊れていないか定期的に点検しましょう。



⑧ エンジンを切ってから！

- 雪が詰まったときは、必ずエンジンを切ってから雪を取り除きましょう。
- 詰まりを取り除く時は、棒などを使用しましょう。
- 素手で取り除くのは、非常に危険なため絶対やめましょう。
- デッドマンクラッチ（安全装置）をひもで縛るなど、無効化することによる事故が増えています。絶対にやめましょう。



⑨ 携帯電話を身につける！

- 事故が起きたときは、動くことが出来なくなることがあります。
- 携帯電話を身につけることで、緊急時でも家族や緊急医療機関などにすぐに連絡をとることが出来ます。



⑩ 無理はしない！

- 除雪作業は重労働です。体調が悪いときは、除雪作業をやめましょう。
- 作業前には、準備運動を行いましょう。
- こまめに休憩をとりながら作業を行いましょう。
- 寒い屋外での重労働は発作など発症の危険性があるため無理をしないようにしましょう。



こんな日は雪崩に注意しましょう

降雪や降雨の後、天気が良く気温が上がったとき



気温が低く圧接された雪の上に多量の新雪がつもったとき

火災

火災に対する備え

ほとんどの火災は、わたしたちが注意することで防ぐことができます。火災を防ぐためのポイントをきちんと学び、日ごろからみんなで注意し合うようにしましょう。

1 放火対策を万全に

ゴミは指定日の朝に出すなど家のまわりに燃えやすいものを置かない。車庫、物置などの戸締りも忘れずにする。



2 コンロから離れない

火がついているコンロから離れるときは、必ず消すこと。コンロのまわりに燃えやすいものを置かない。



3 寝たばこ、ポイ捨ては厳禁

火がついたたばこを放置しない。喫煙するときには深い灰皿を使い、吸殻を捨てるときには必ず水につける。



4 子供の火遊びに注意

子供には火の安全な扱い方や怖さを教える。子供の手の届くところにマッチやライターを置かない。



5 ストーブのまわりを整理

衣類や布団など、ストーブのまわりに燃えるものを置かない。家具のそばにストーブをおかない。近くで洗濯物を乾かすのも危険。



6 配線まわりはきれいに

複数のコードをまとめたり、たこ足配線をしたりしない。コードの上にものを載せるのも危険。コンセントまわりは定期的に掃除する。



7 風が強い日にたき火はしない

風が強い日や空気が乾燥しているときは、危険なのでたき火はやめる。また、たき火などを行う際は、事前に近くの消防署に届け出る。たき火の後は、水をかけるなどして完全に消火したことを確認する。

※県条例により10/1～11/10の期間中はたき火や野焼き等が禁止されています。



火災発生！初期対応の３原則

出火に居合わせたら、「通報」「初期消火」「避難」の順に行動することが基本です。しかし、状況によっては優先順位が異なりますので、逃げ遅れないように冷静な判断を心掛けましょう。

行動1 早く知らせる！

- 大きな声で「火事だー！」と叫び、隣近所に知らせる。声が出ない場合は、非常ベルを鳴らすか、やかんや鍋など音の出るものをたたくなどして異常を知らせる。
- どんなに小さな火事でも必ず119番に通報する。

行動2 早く消す！

- 火がまだ横に広がっているうちは消火が可能。
- 消火器や水だけでなく、座布団や毛布など手近なものを利用する。

行動3 早く逃げる！

- 天井まで火が燃え広がったら消火は困難。無理せず早めに避難する。
- 可能ならば、燃えている部屋の窓やドアを閉め、空気を遮断してから避難する。

火元別の消火方法

■コンロ

- 油鍋に水をかけるのは厳禁。
- 消火器を離れた位置から、鍋の全面を覆うように向けて噴射する。
- 消火器がない場合は、シーツやバスタオルをぬらして手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断する。



■衣類

- 着衣に火がついたら、転げまわって火を消す。
- 風呂場に残り湯があれば、浴槽に飛び込む。



■ストーブ

- 消火器は直接火元に向けて噴射する。
- 消火器がない場合は、シーツや毛布などをぬらして手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断する。



■電気器具

- いきなり水をかけると感電の危険があるので、コンセントを抜くか、ブレーカーを切り、消火器で消火する。



■カーテン・ふすま・障子

- カーテンは燃え広がる前に水をかける。できればレールからひきちぎり消火する。
- ふすまや障子などはけり倒して、踏み消す。その後、水をかけてしっかり消火する。



■たき火

- 消火器を使う。消火器がない場合は水や土で消す。
- 水の準備ができていない場合は、ほうきや木の枝でたたいて消し、その後、水でしっかり消火する。



■たばこ

- 寝たばこなどにより、毛布などの綿製品が焦げた場合は、消したつもりでも見えないところに火種が残り、再び燃えだすことがあるので、浴槽などにつけ完全に消す。



逃げるタイミングは天井への延焼！

避難する目安は天井まで火が燃え移ったとき。火が天井に燃え移るまでの間は初期消火に努めますが、もし炎が天井に燃え移ったら、けっして自分で消火しようとせず、迷わずすぐに避難してください。



洪水・土砂災害マップ（全域）

N

1:75,000

分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
土砂災害警戒区域		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域

分類	表記	名称
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

浸水継続時間

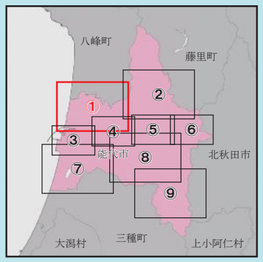
凡　例

- 12時間
- 24時間（1日）
- 72時間（3日）
- 168時間（1週間）

洪水・土砂災害マップ①

N

1:25,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
土砂災害警戒区域		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域

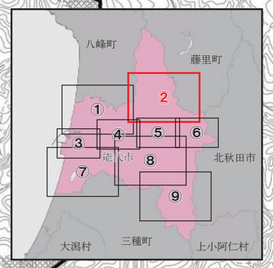
分類	表記	名称
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		河川ライブカメラ
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

0 350m 750m

洪水・土砂災害マップ②

N

1:25,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
土砂災害警戒区域		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		河川ライブカメラ
		防災行政無線（ｱﾝﾃﾅﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝﾃﾅﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

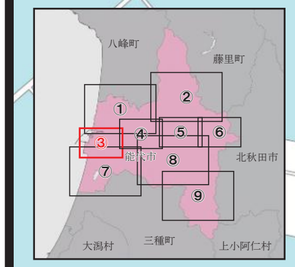
能代市
藤里町
二ツ井町梅内
常盤
常盤
米代川
57
58
59
56
60
63
64
39
206
202

0 750m 1.5km

洪水・土砂災害マップ③

N

1:15,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
土砂災害警戒区域		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域

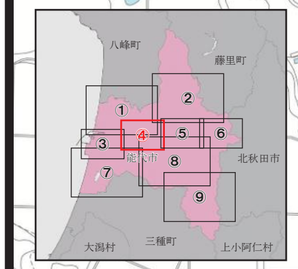
分類	表記	名称
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		河川ライブカメラ
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

0 350m 750m

洪水・土砂災害マップ④

N

1:15,000



能代市

米代川

能代工業団地

鰄渕

金堀

下堤

槐

産物

鼻

奥羽本線

63
206
64
205
7
4

分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊等想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
土砂災害警戒区域		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域

分類	表記	名称
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		河川ライブカメラ
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

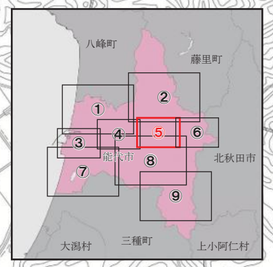
0　350m　750m

鰄渕

洪水・土砂災害マップ⑤

N

1:15,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
土砂災害警戒区域		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域

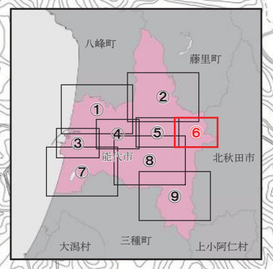
分類	表記	名称
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		河川ライブカメラ
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

0 350m 750m

洪水・土砂災害マップ⑥

N

1:15,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
土砂災害警戒区域		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域

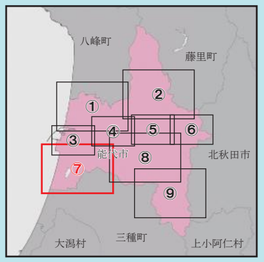
分類	表記	名称
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		河川ライブカメラ
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

能代市
北秋田市
きみまち阪県立自然公園
道の駅ふたつい
奥羽本線
ふたつい
米代川
井町小繋
二ツ井町麻生
317
322
7
3
203
0
350m
750m

洪水・土砂災害マップ⑦

N

1:25,000



能代エナジアムパーク

宇宙科学研究所
能代ロケット実験場

三頭沼

五能線

能代東IC

能代南IC

小友沼

河戸川

小沼

浅内

浅内沼

奥羽本線

能代市

三種町

檜山

中内

由床内

0 750m 1.5km

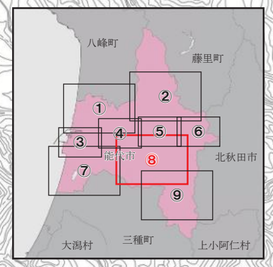
分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
土砂災害警戒区域		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域

分類	表記	名称
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		河川ライブカメラ
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

洪水・土砂災害マップ⑧

N

1:25,000



奥羽本線
米代川
二ツ井球場
二ツ井町仁鮒
二ツ井町小繋
田床岱
母体
三種町
能代市

0 750m 1.5km

分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
警戒区域 土砂災害		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		河川ライブカメラ
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

洪水・土砂災害マップ⑨

能代市

北秋田市

三種町

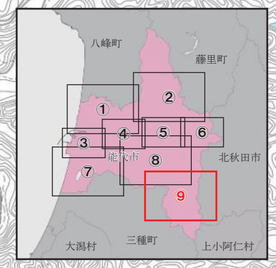
二ツ井町小繋

二ツ井町滝川

二ツ井町田代

N

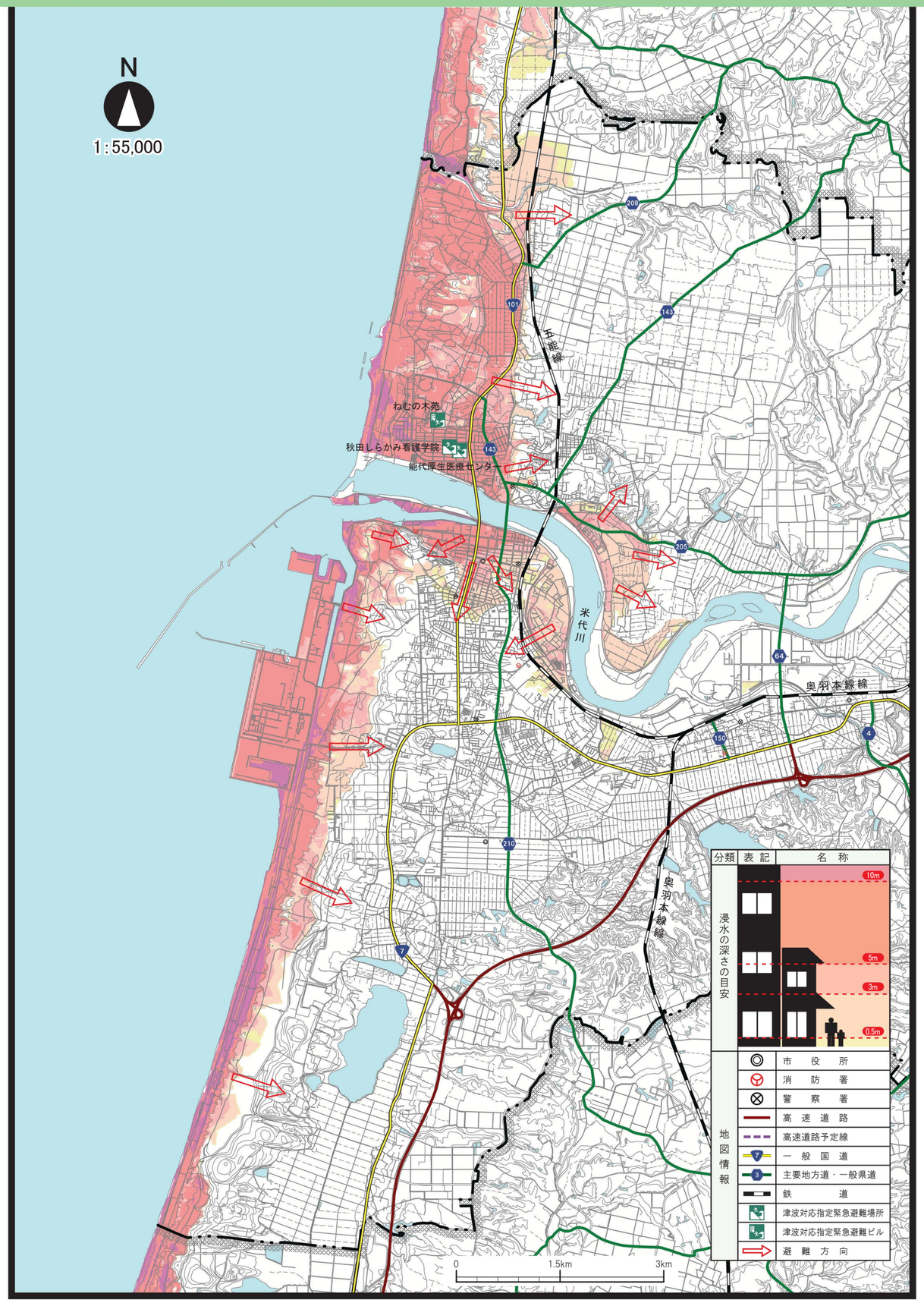
1:25,000



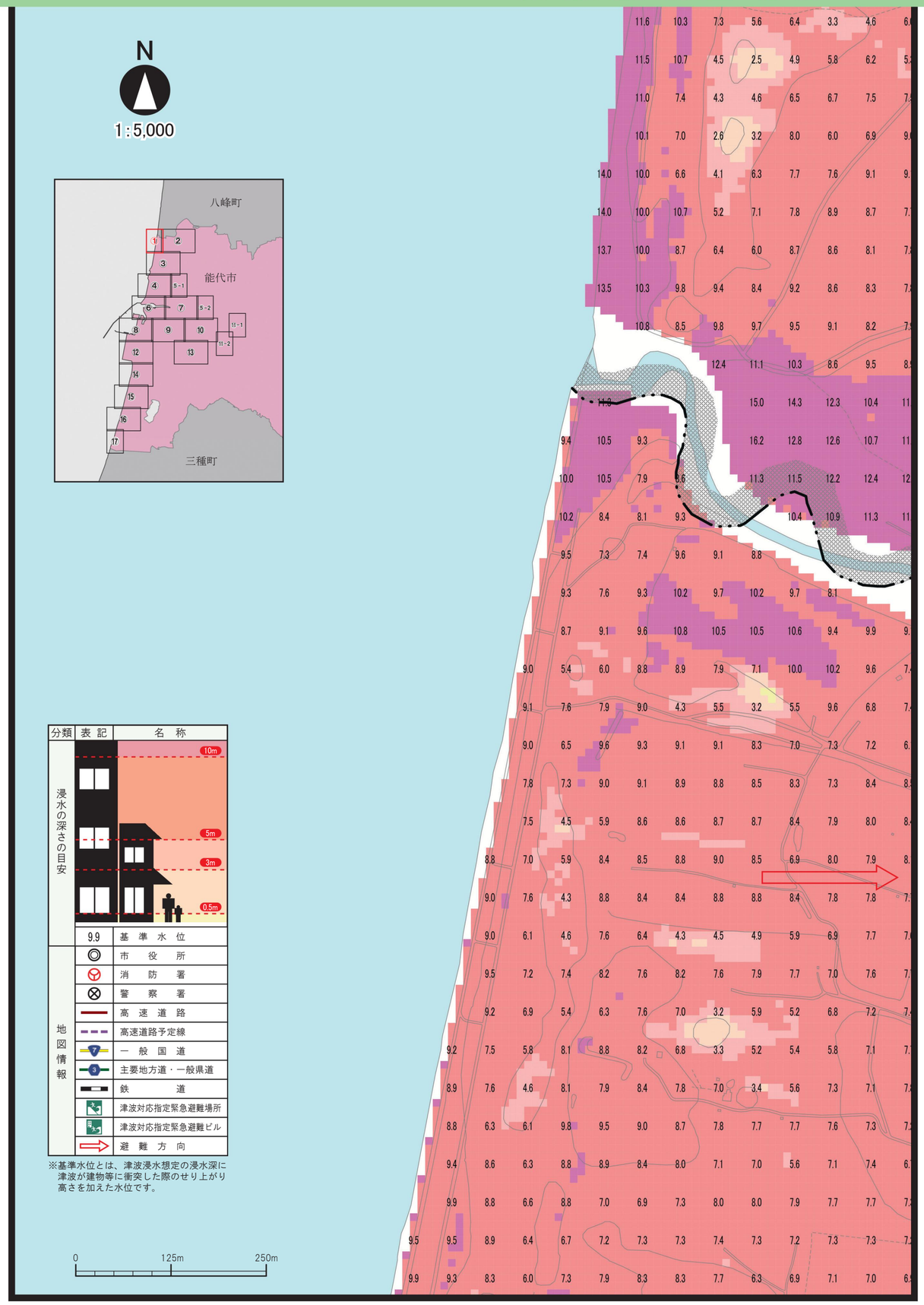
0 750m 1.5km

分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
家屋倒壊等想定区域		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
		家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
浸水実績		平成25年9月豪雨災害
		令和5年7月豪雨災害
土砂災害警戒区域		急傾斜地の特別警戒区域
		土石流の特別警戒区域
		急傾斜地の警戒区域
		土石流の警戒区域
		地滑りの警戒区域
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		水位観測所
		雨量観測所
		河川ライブカメラ
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ無）
		防災行政無線（ｱﾝｻｰﾊﾞｯｸ有）
		避難所
		緊急避難場所
		要配慮者施設
		福祉避難所
		避難方向

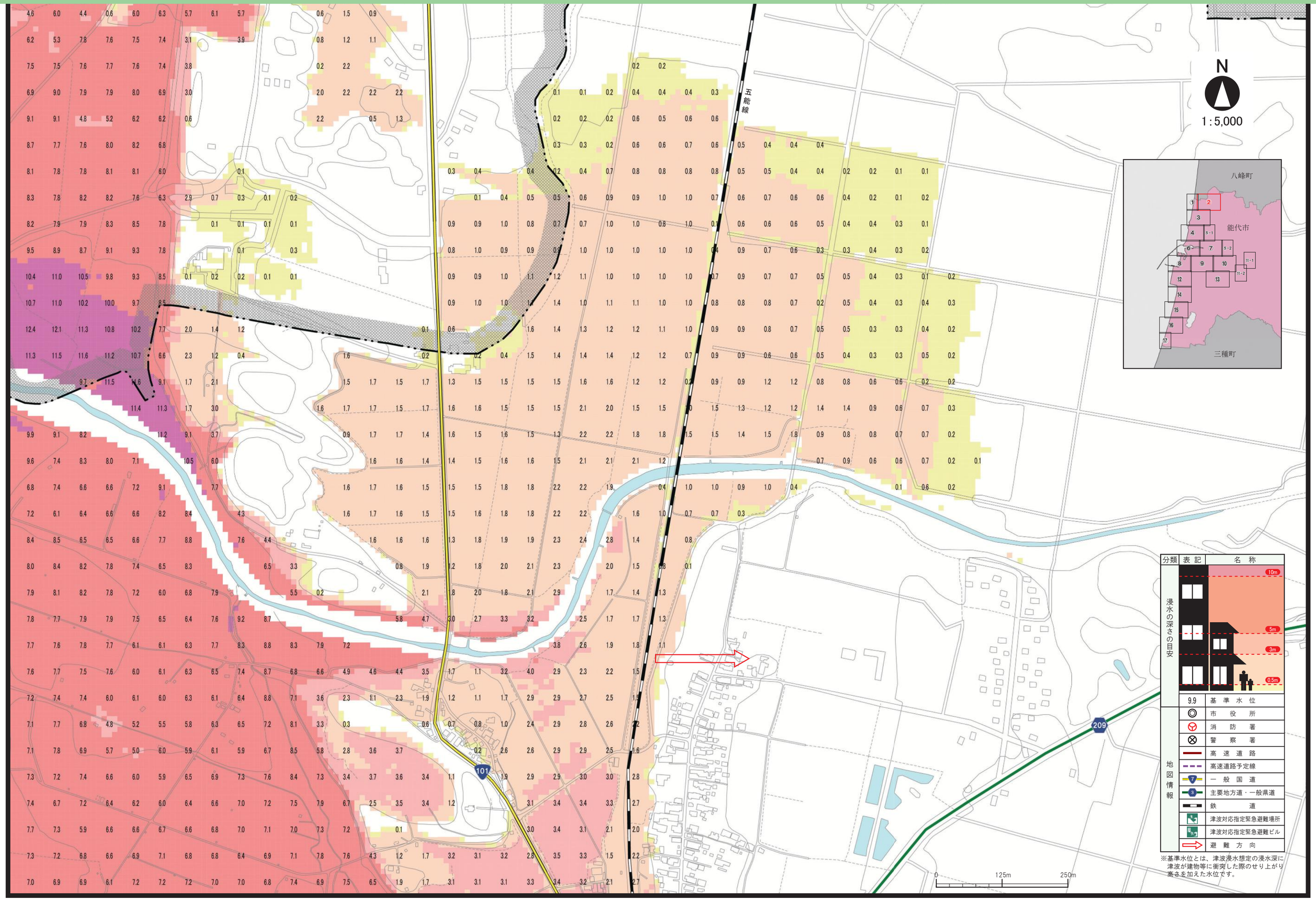
津波警戒区域（全域）



津波警戒区域①



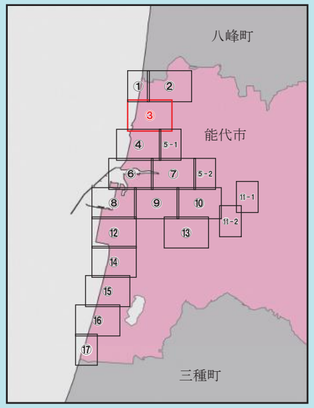
津波警戒区域②



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

津波警戒区域③



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
地図情報	9.9	基準水位
	◎	市役所
	⊕	消防署
	⊗	警察署
	━	高速道路
	┅	高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
	▬	鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
	⇨	避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

0 125m 250m

N

1:5,000

きたのしろ

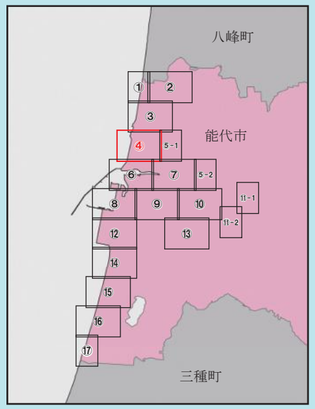
五能線

101

津波警戒区域④

N

1：5,000



津波発生時の指定緊急避難ビル		
No	施設・場所名	海抜(m)
1	ねむの木苑	10

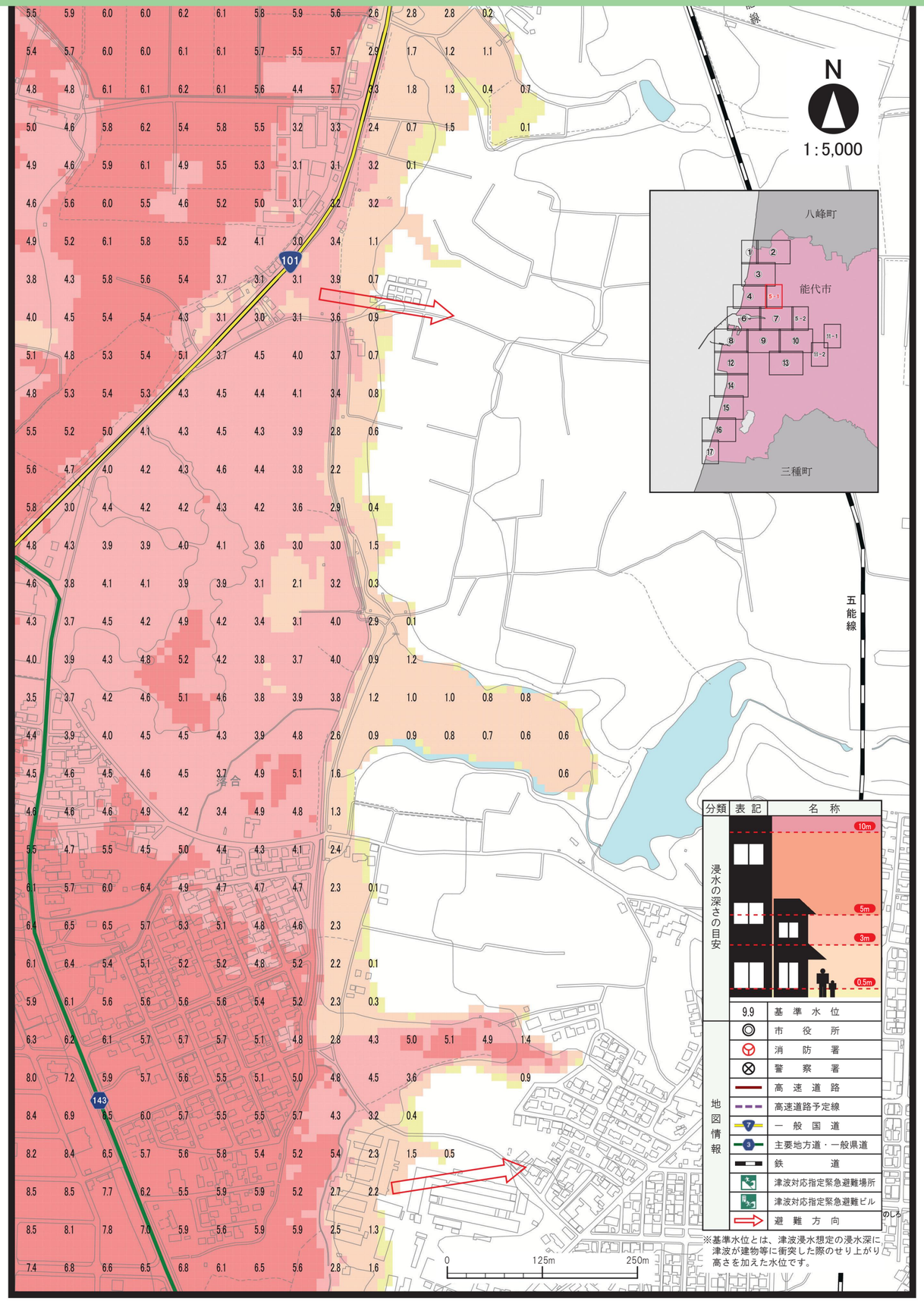
津波発生時の指定緊急避難場所		
No	施設・場所名	海抜(m)
1	能代厚生医療センター	5
2	秋田しらかみ看護学院	4

分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

0　125m　250m

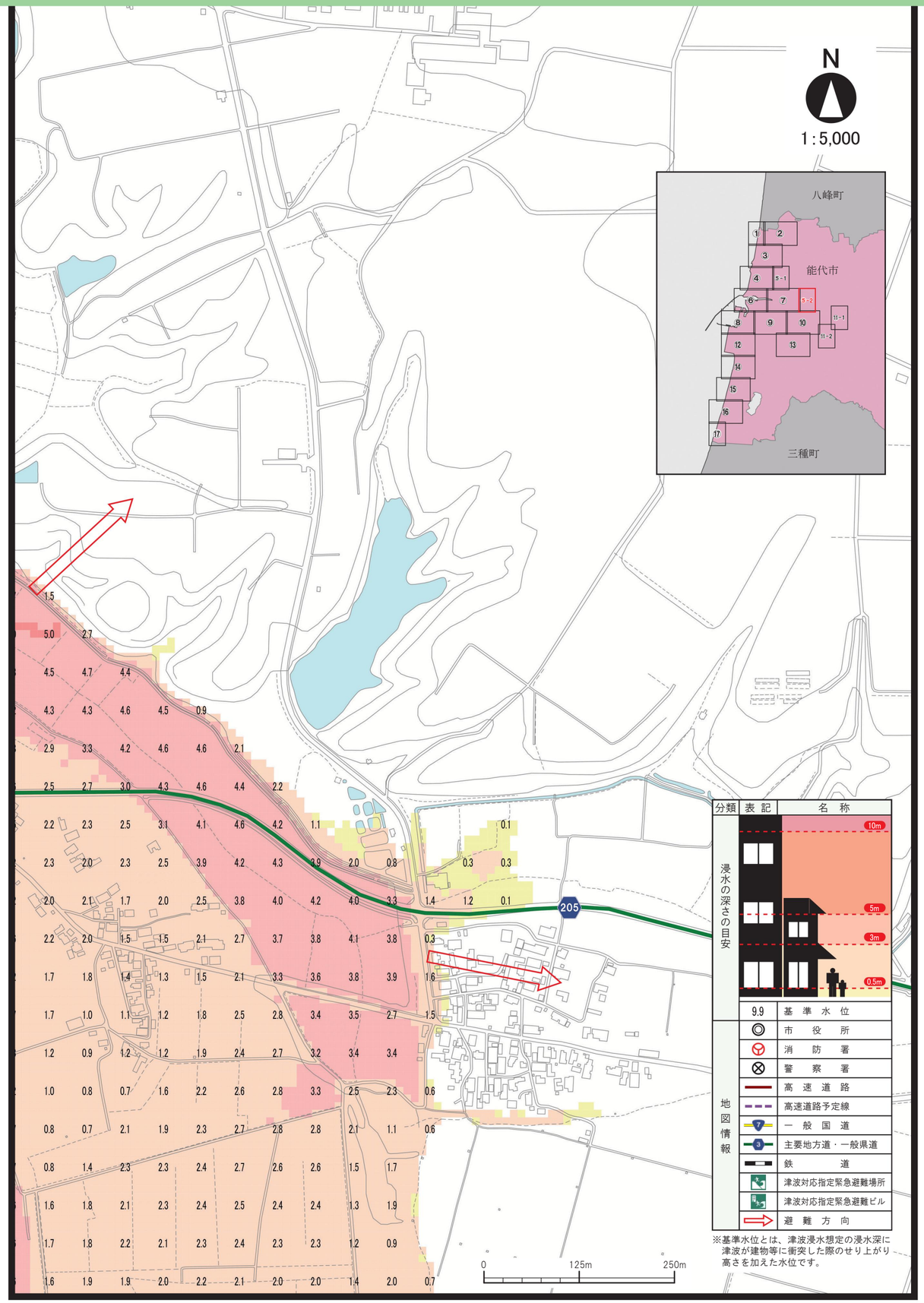
津波警戒区域⑤－1



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報	◎	市役所
	⊕	消防署
	⊗	警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	9	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

津波警戒区域⑤－2



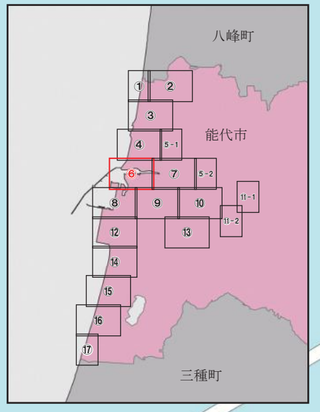
分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報	◎	市役所
	⊕	消防署
	⊗	警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	9	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

津波警戒区域⑥

N

1：5,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

0　125m　250m

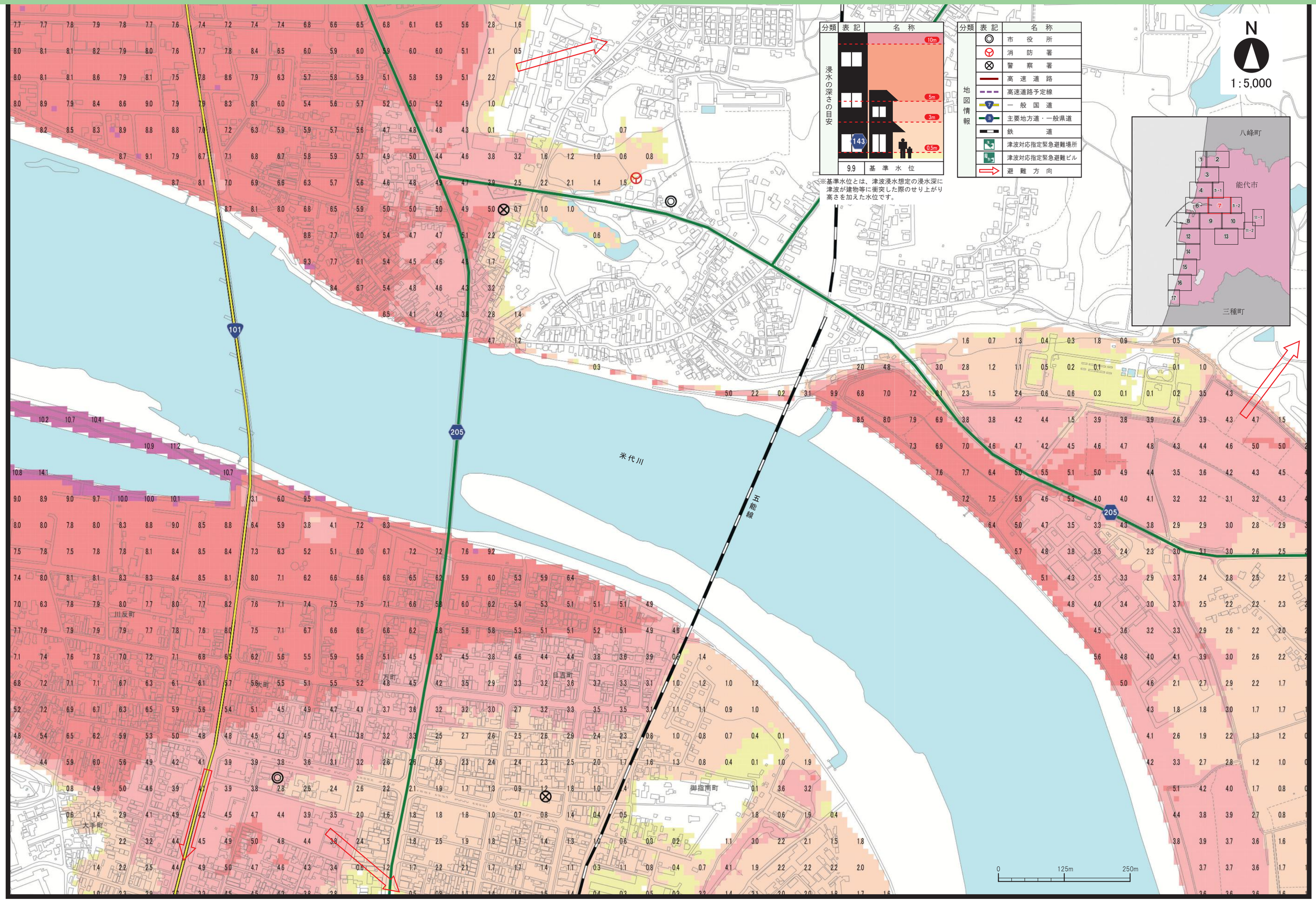
能代港

米代川

清助

・能代公園

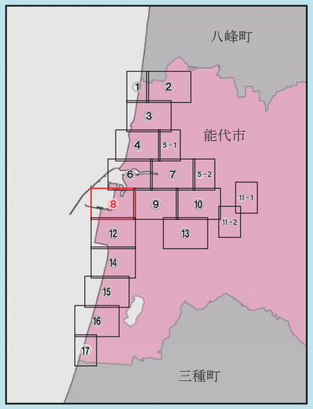
津波警戒区域⑦


分類
表記
名称
浸水の深さの目安
10m
5m
3m
0.5m
9.9
基準水位
※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。
地図情報
市役所
消防署
警察署
高速道路
高速道路予定線
一般国道
主要地方道・一般県道
鉄道
津波対応指定緊急避難場所
津波対応指定緊急避難ビル
避難方向
N
1:5,000
八峰町
能代市
三種町
米代川
五能線
101
205
川反町
大手町
万町
大町
日吉町
御指南町
0
125m
250m

津波警戒区域⑧

N

1:5,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報	◎	市役所
	⊕	消防署
	⊗	警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

能代港

木材工業団地

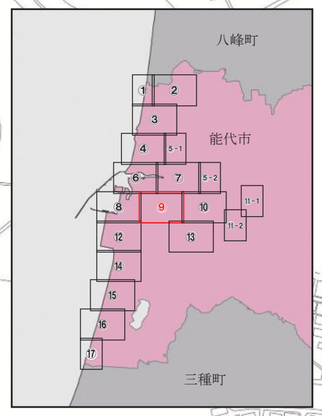
風の松原

0 125m 250m

津波警戒区域⑨

N

1 : 5,000

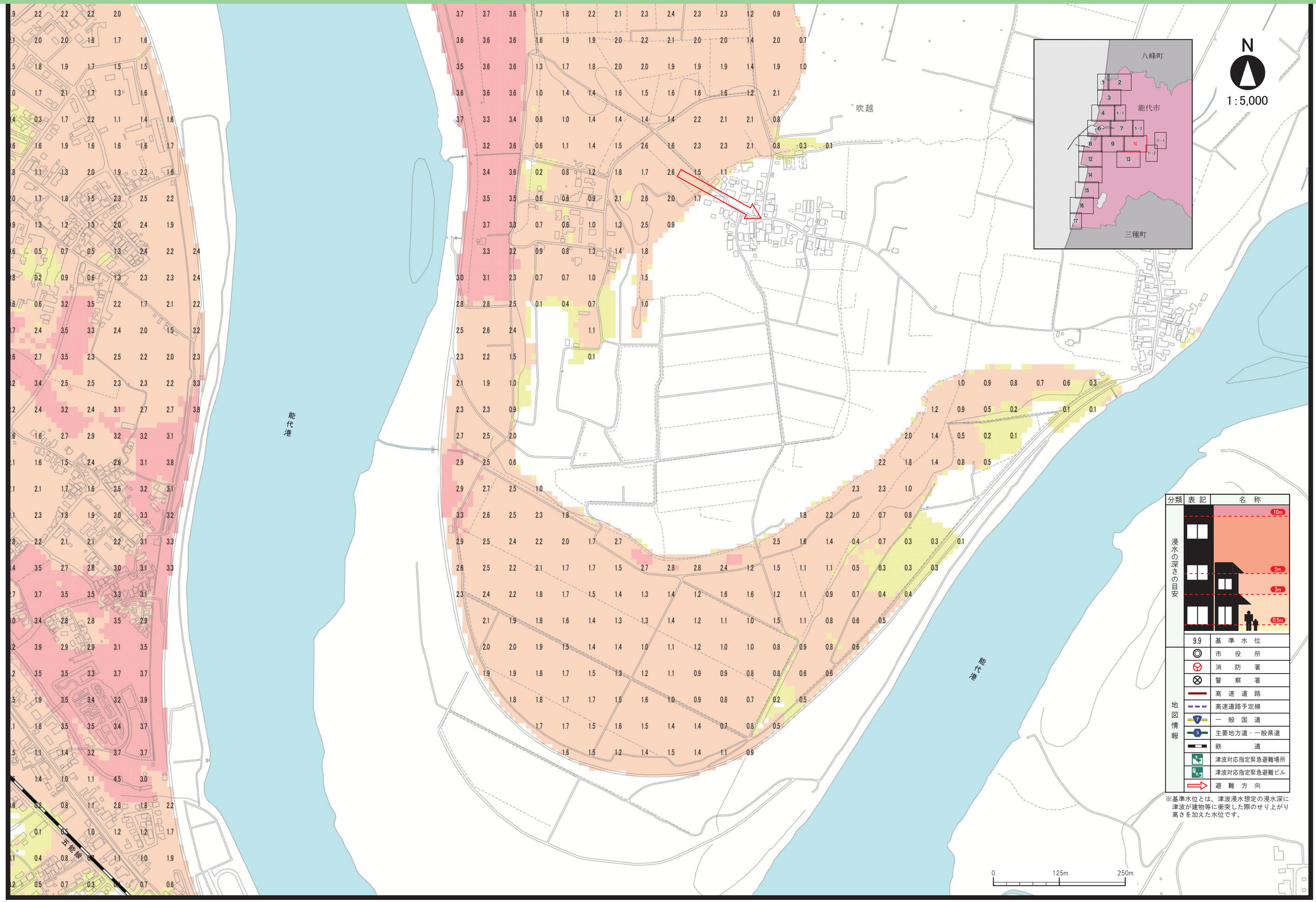


分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

0 125m 250m

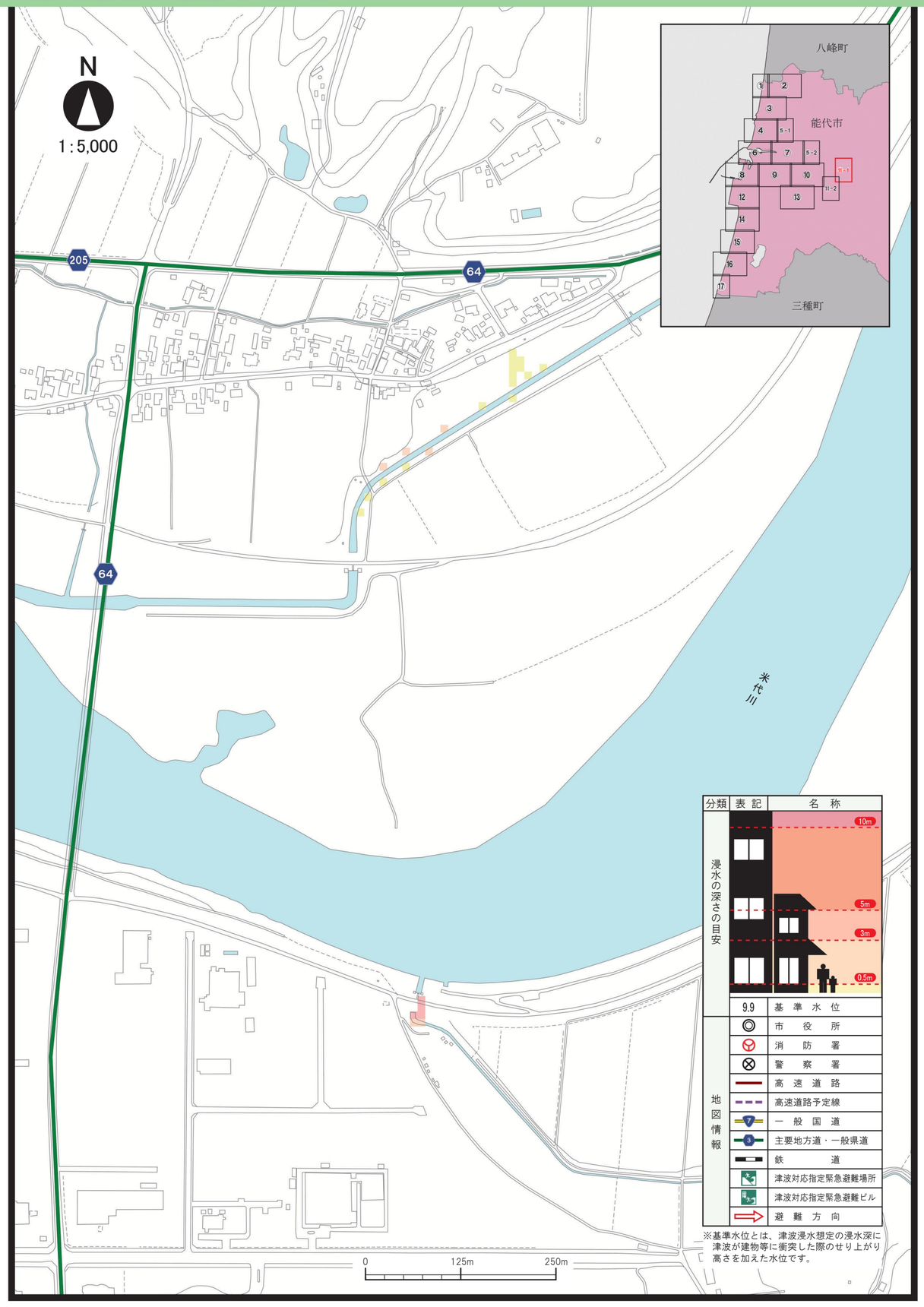
津波警戒区域⑩



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

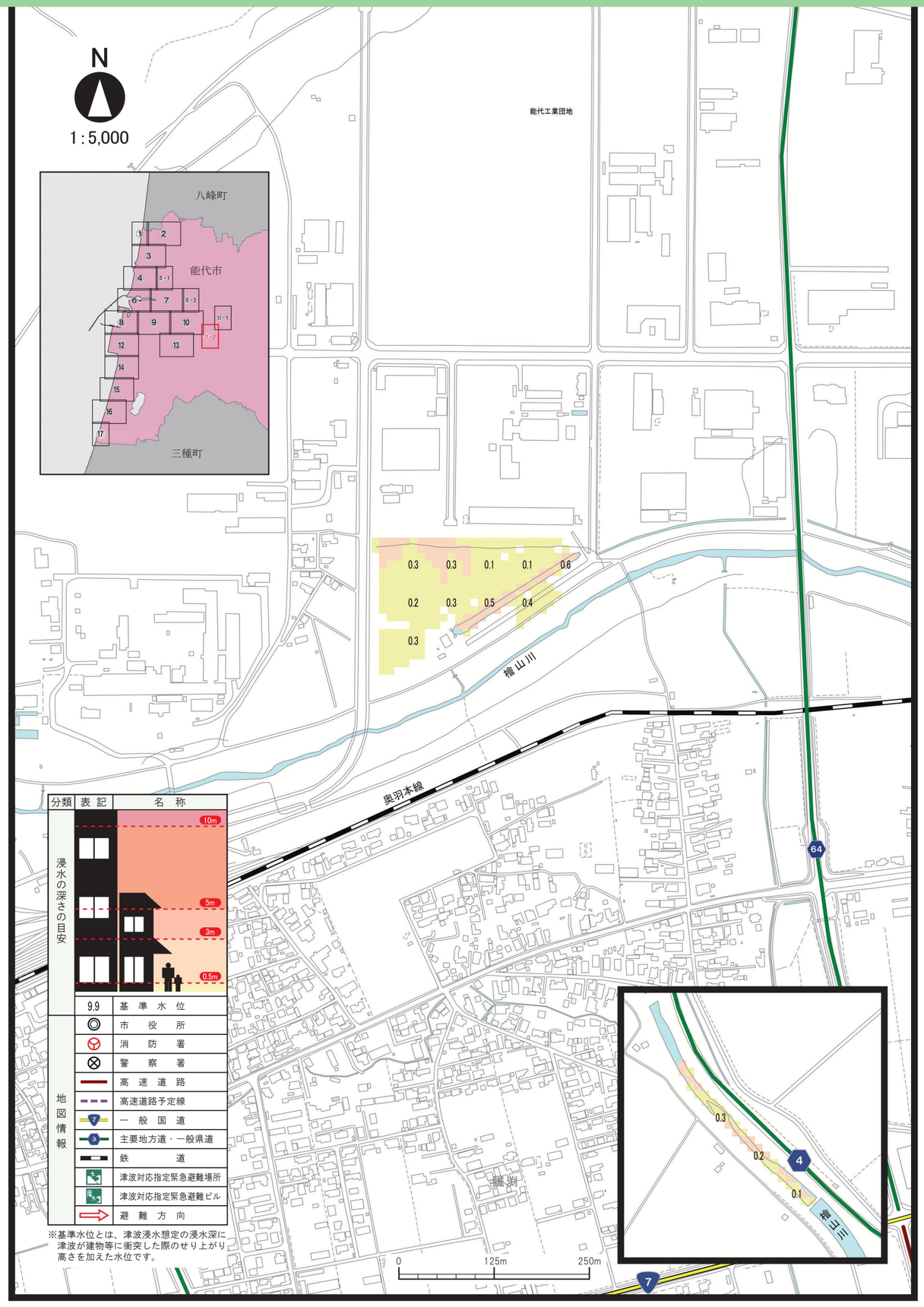
津波警戒区域⑪－1



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
地図情報	9.9	基準水位
	◎	市役所
	⊕	消防署
	⊗	警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

津波警戒区域⑪－2



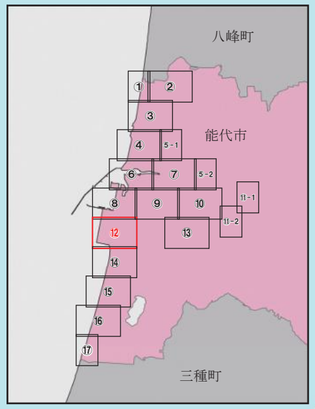
分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
地図情報	9.9	基準水位
	◎	市役所
	⊕	消防署
	⊗	警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

津波警戒区域⑫

N

1：5,000



東北エナジアムパーク

0　125m　250m

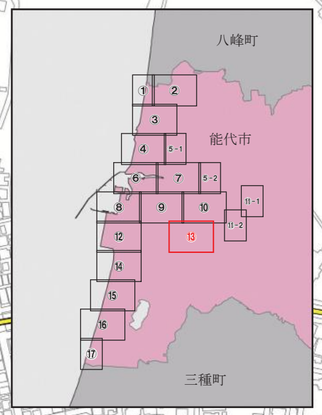
分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報	◎	市役所
	⊕	消防署
	⊗	警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
	⇨	避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

津波警戒区域⑬

N

1 : 5,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	3	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

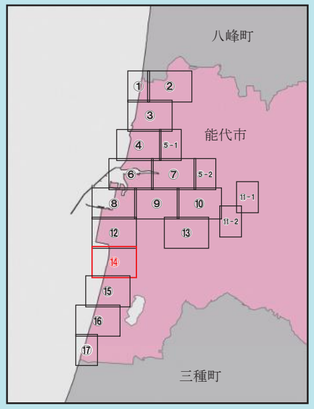
※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

0 125m 250m

津波警戒区域⑭

N

1：5,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報	◎	市役所
	⊕	消防署
	⊗	警察署
		高速道路
		高速道路予定線
	7	一般国道
	8	主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

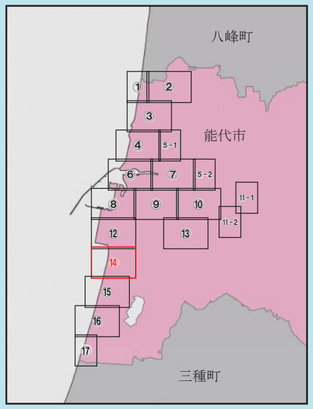
0　125m　250m

・宇宙科学研究所
能代ロケット実験場

津波警戒区域⑮

N

1：5,000



分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

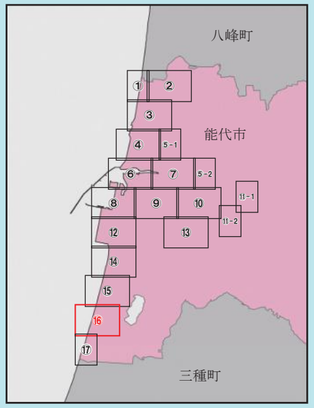
※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

0　125m　250m

津波警戒区域⑯

N

1：5,000

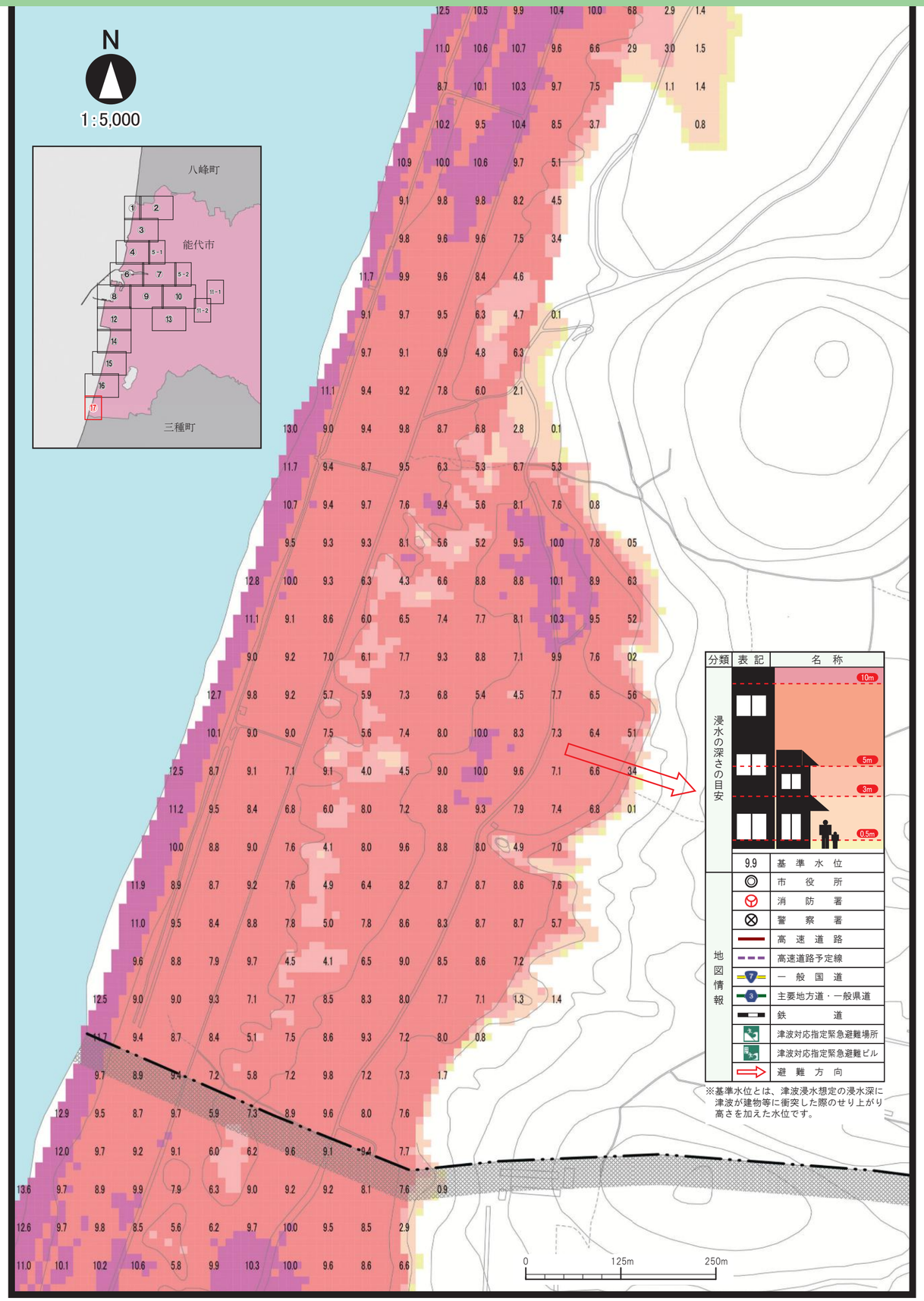


分類	表記	名称
浸水の深さの目安		10m / 5m / 3m / 0.5m
	9.9	基準水位
地図情報		市役所
		消防署
		警察署
		高速道路
		高速道路予定線
		一般国道
		主要地方道・一般県道
		鉄道
		津波対応指定緊急避難場所
		津波対応指定緊急避難ビル
		避難方向

※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

0　125m　250m

津波警戒区域⑰



※基準水位とは、津波浸水想定の浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

「災害・避難カード」を作って**もしも**の時に備えましょう

「災害・避難カード」とは、地震や津波、風水害が発生した時に、ご自身や家族の命を守るための行動や必要となる情報を記入して携帯しておくものです。

カードの使い方

① カードを破線（太線）で切り取り、表、裏をコピーする。
② コピーした紙を破線（細線）で切り取り、必要事項を記入し半分に折る。
※コピーした紙を使うことによって、定期的に内容を見直すことが出来ます。
③ 財布やパスケースなど、常に携帯するものの中に入れておく。

メモ欄の記入例

メモ欄（留意事項など）
避難するときは○○さんに声をかける
持病の薬を一緒に持って行く
□□病院 ○○○○－△△－◇◇◇◇

災害に備えて、いつ・どこへ避難するか家族で話し合い決めておきましょう！

メモ欄（留意事項など）

災害・避難カード

わたしの情報

ふりがな 名前					
性別		血液型		家族	人
生年月日					
住所					
電話番号					
緊急連絡先					

メモ欄（留意事項など）

災害・避難カード

わたしの情報

ふりがな 名前					
性別		血液型		家族	人
生年月日					
住所					
電話番号					
緊急連絡先					

メモ欄（留意事項など）

災害・避難カード

わたしの情報

ふりがな 名前					
性別		血液型		家族	人
生年月日					
住所					
電話番号					
緊急連絡先					

メモ欄（留意事項など）

災害・避難カード

わたしの情報

ふりがな 名前					
性別		血液型		家族	人
生年月日					
住所					
電話番号					
緊急連絡先					

メモ欄（留意事項など）

災害・避難カード

わたしの情報

ふりがな 名前					
性別		血液型		家族	人
生年月日					
住所					
電話番号					
緊急連絡先					

メモ欄（留意事項など）

災害・避難カード

わたしの情報

ふりがな 名前					
性別		血液型		家族	人
生年月日					
住所					
電話番号					
緊急連絡先					

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話が混雑して、家族と連絡が連絡が取れないことがあります。
そんな時には「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数など利用条件についてはNTTが決定しテレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法	再生方法
171	171
案内放送が流れます	案内放送が流れます
1	2
（例）0185-XX-XXXX 自宅の電話番号	（例）0185-XX-XXXX 連絡を取りたい方の電話番号

※災害用伝言ダイヤル「171」は、一般加入電話・公衆電話・携帯電話でご利用できます。

災害用伝言板「web171」

インターネットを利用して、被災地域の方が伝言情報を文字で登録できます。登録された伝言情報は海外を含む全国から確認し、追加の伝言を登録することが可能です。
携帯各社の災害伝言板に登録された伝言を検索することもできます。

https://www.web171.jp/ にアクセス

伝言を**登録**するとき
市外局番から**電話番号**
（例）0185-XX-XXXX
または**携帯電話番号**を入力
→「登録」をクリック伝言を登録します。

伝言を**確認**するとき
→「確認」をクリック伝言を確認します。

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話が混雑して、家族と連絡が連絡が取れないことがあります。
そんな時には「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数など利用条件についてはNTTが決定しテレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法	再生方法
171	171
案内放送が流れます	案内放送が流れます
1	2
（例）0185-XX-XXXX 自宅の電話番号	（例）0185-XX-XXXX 連絡を取りたい方の電話番号

※災害用伝言ダイヤル「171」は、一般加入電話・公衆電話・携帯電話でご利用できます。

災害用伝言板「web171」

インターネットを利用して、被災地域の方が伝言情報を文字で登録できます。登録された伝言情報は海外を含む全国から確認し、追加の伝言を登録することが可能です。
携帯各社の災害伝言板に登録された伝言を検索することもできます。

https://www.web171.jp/ にアクセス

伝言を**登録**するとき
市外局番から**電話番号**
（例）0185-XX-XXXX
または**携帯電話番号**を入力
→「登録」をクリック伝言を登録します。

伝言を**確認**するとき
→「確認」をクリック伝言を確認します。

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話が混雑して、家族と連絡が連絡が取れないことがあります。
そんな時には「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数など利用条件についてはNTTが決定しテレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法	再生方法
171	171
案内放送が流れます	案内放送が流れます
1	2
（例）0185-XX-XXXX 自宅の電話番号	（例）0185-XX-XXXX 連絡を取りたい方の電話番号

※災害用伝言ダイヤル「171」は、一般加入電話・公衆電話・携帯電話でご利用できます。

災害用伝言板「web171」

インターネットを利用して、被災地域の方が伝言情報を文字で登録できます。登録された伝言情報は海外を含む全国から確認し、追加の伝言を登録することが可能です。
携帯各社の災害伝言板に登録された伝言を検索することもできます。

https://www.web171.jp/ にアクセス

伝言を**登録**するとき
市外局番から**電話番号**
（例）0185-XX-XXXX
または**携帯電話番号**を入力
→「登録」をクリック伝言を登録します。

伝言を**確認**するとき
→「確認」をクリック伝言を確認します。

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話が混雑して、家族と連絡が連絡が取れないことがあります。
そんな時には「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数など利用条件についてはNTTが決定しテレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法	再生方法
171	171
案内放送が流れます	案内放送が流れます
1	2
（例）0185-XX-XXXX 自宅の電話番号	（例）0185-XX-XXXX 連絡を取りたい方の電話番号

※災害用伝言ダイヤル「171」は、一般加入電話・公衆電話・携帯電話でご利用できます。

災害用伝言板「web171」

インターネットを利用して、被災地域の方が伝言情報を文字で登録できます。登録された伝言情報は海外を含む全国から確認し、追加の伝言を登録することが可能です。
携帯各社の災害伝言板に登録された伝言を検索することもできます。

https://www.web171.jp/ にアクセス

伝言を**登録**するとき
市外局番から**電話番号**
（例）0185-XX-XXXX
または**携帯電話番号**を入力
→「登録」をクリック伝言を登録します。

伝言を**確認**するとき
→「確認」をクリック伝言を確認します。

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話が混雑して、家族と連絡が連絡が取れないことがあります。
そんな時には「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数など利用条件についてはNTTが決定しテレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法	再生方法
171	171
案内放送が流れます	案内放送が流れます
1	2
（例）0185-XX-XXXX 自宅の電話番号	（例）0185-XX-XXXX 連絡を取りたい方の電話番号

※災害用伝言ダイヤル「171」は、一般加入電話・公衆電話・携帯電話でご利用できます。

災害用伝言板「web171」

インターネットを利用して、被災地域の方が伝言情報を文字で登録できます。登録された伝言情報は海外を含む全国から確認し、追加の伝言を登録することが可能です。
携帯各社の災害伝言板に登録された伝言を検索することもできます。

https://www.web171.jp/ にアクセス

伝言を**登録**するとき
市外局番から**電話番号**
（例）0185-XX-XXXX
または**携帯電話番号**を入力
→「登録」をクリック伝言を登録します。

伝言を**確認**するとき
→「確認」をクリック伝言を確認します。

避　難　所

※「2F」は2階以上を利用
「体」は体育館を利用

No	施設・場所名	所　在	電話番号	洪水	土砂	津波	地震
1	渟城西小学校	能代市盤若町2-1	52-2237	○	○	○	○
2	渟城南小学校	能代市若松町2-24	52-5329	○	○	○	○
3	第四小学校	能代市字藤山3	52-3239	○	○	○	○
4	能代第一中学校	能代市盤若町8-11	52-2227	○	○	○	○
5	能代第二中学校	能代市字豊祥岱1-46	52-5138	○	○	○	○
6	能代松陽高等学校	能代市緑町4-7	89-2021	2F	○	○	○
7	能代高等学校	能代市字高塙2-1	54-2230	○	○	○	○
8	能代科学技術高等学校	能代市盤若町3-1	52-4148	○	○	○	○
9	能代市総合体育館	能代市大町9-53	54-3607	－	○	－	○
10	能代ふれあいプラザサンピノ	能代市上町12-32	89-5530	○	○	○	○
11	文化会館	能代市追分町4-26	54-8141	○	○	○	○
12	勤労青少年ホーム	能代市追分町4-26	55-1585	○	○	○	○
13	広域交流センター	能代市字海詠坂3-2	54-5300	○	－	○	○
14	向能代小学校	能代市向能代字上野越25-1	52-6249	○	○	○	○
15	東雲中学校	能代市向能代字トトメキ106-1	52-5119	○	○	○	○
16	能代西高等学校	能代市真壁地字上野193	52-3218	○	○	○	○
17	向能代地域センター	能代市向能代字上野越83	52-6318	○	○	○	○
18	土床体育館	能代市落合字亀谷地1-65	54-1661	○	○	－	○
19	アリナス	能代市落合字下台2-1	54-9200	○	○	－	○
20	旧竹生小学校	能代市竹生字竹生18-1	89-1343	○	○	○	○
21	浅内小学校	能代市浅内字上ノ山236	52-4715	○	○	○	○
22	能代南中学校	能代市河戸川字中野241	52-6452	○	○	○	○
23	南地域センター	能代市河戸川字南後田134-1	89-2324	○	○	○	○
24	第五小学校	能代市鰄渕字中嶋古屋布25	58-2178	2F	○	○	○
25	能代東中学校	能代市扇田字東扇田251-1	58-3050	○	○	○	○
26	扇淵地域センター	能代市扇田字道地155-1	58-3100	○	○	○	○
27	おとも苑	能代市字腹鞍ノ沢19-10	58-5295	○	○	○	○
28	旧崇徳小学校	能代市檜山字寺田4-8	58-5004	○	体	○	○
29	檜山地域拠点施設	能代市檜山字霧山下104	58-3101	○	○	○	○
30	母体会館	能代市母体字樋ノ口6-5	090-3754-6262	○	○	○	○
31	鶴形地域拠点施設	能代市字町後16	58-3211	○	－	○	○
32	鶴形地域センター	能代市字鶴形70	58-3211	○	○	○	○
33	旧常盤小学校	能代市常盤字堂回90	59-2004	2F	○	○	○
34	旧常盤中学校	能代市常盤字堂回90	59-2005	2F	○	○	○
35	常盤地域センター	能代市常盤字堂回90	59-2111	2F	○	○	○
36	旧朴瀬小学校	能代市朴瀬字二林台65-1	52-2725	○	○	○	○
37	B&G海洋センター	能代市落合字亀谷地1-65	54-4419	○	○	－	○
38	子育て支援センターさんぽえむ	能代市二ツ井町梅内字前田206	73-3111	○	－	○	○
39	種梅ふるさとの家	能代市二ツ井町種字下樋ノ口167	73-5501	○	－	○	○
40	きみまち子ども園	能代市二ツ井町荷上場字鍋良子出口15-1	73-5455	○	○	○	○
41	二ツ井公民館荷上場分館	能代市二ツ井町荷上場字鍋良子出口1-1	73-2590	－	○	○	○
42	荷上場体育館	能代市二ツ井町荷上場字鍋良子出口1-1	73-3772	－	○	○	○
43	小繋会館	能代市二ツ井町小繋字神明社下22-1	73-4882	－	○	○	○
44	旧切石保育園	能代市二ツ井町切石字山根73-1	－	○	○	○	○
45	ブナの森ふれあい伝承館	能代市二ツ井町飛根字高清水391	75-2380	－	○	○	○
46	二ツ井中学校	能代市二ツ井町字下野76-2	73-2711	2F	○	○	○
47	二ツ井伝承ホール	能代市二ツ井町字上台1-1	73-5285	－	○	○	○
48	二ツ井町総合体育館	能代市二ツ井町字上台60	73-6111	2F	○	○	○
49	能代高等学校定時制課程	能代市二ツ井町字五千苅20-1	73-3511	2F	○	○	○
50	二ツ井公民館二ツ井分館	能代市二ツ井町字三千苅3-3	73-4093	－	○	○	○
51	二ツ井小学校	能代市二ツ井町字上台25-1	73-2341	○	○	○	○
52	二ツ井公民館	能代市二ツ井町字下野家後49	73-2590	2F	○	○	○
53	二ツ井子ども園	能代市二ツ井町字下野川端2-1	73-2620	－	○	○	○
54	杉ホールひびき	能代市二ツ井町仁鮒字後山38-2	73-4261	○	○	○	○

緊急避難場所

No	施設・場所名	所　在	電話番号	洪水	土砂	津波	地震
1	渟城西小学校グラウンド	能代市盤若町2-1	52-2237	○	○	－	○
2	渟城南小学校グラウンド	能代市若松町2-24	52-5329	○	○	○	○
3	第四小学校グラウンド	能代市字藤山3	52-3239	○	○	○	○
4	能代第一中学校グラウンド	能代市盤若町8-11	52-2227	○	○	○	○
5	能代第二中学校グラウンド	能代市字豊祥岱1-46	52-5138	○	○	○	○
6	能代松陽高等学校グラウンド	能代市緑町4-7	89-2021	－	○	○	○
7	能代高等学校グラウンド	能代市字高塙2-1	54-2230	○	○	○	○
8	旧能代北高等学校跡地	能代市追分町1-36	89-2123	○	○	○	○
9	中央公民館広場	能代市追分町4-26	54-8141	○	○	○	○
10	市営陸上競技場	能代市末広町66-1	54-3607	○	○	－	○
11	能代公園	能代市清助町25外	89-2197	○	○	○	○
12	能代河畔公園	能代市万町136外	89-2197	－	○	－	○
13	川端街区公園	能代市万町213外	89-2197	－	○	－	○
14	大町街区公園	能代市大町148-2外	89-2197	○	○	－	○
15	中央近隣公園	能代市上町152	89-2197	○	○	－	○
16	富町街区公園	能代市富町197	89-2197	○	○	－	○
17	富町小街区公園	能代市富町193	89-2197	○	○	－	○
18	井坂街区公園	能代市御指南町24外	89-2197	○	○	○	○
19	柳町街区公園	能代市柳町167	89-2197	○	○	－	○
20	出戸町街区公園	能代市西通町172	89-2197	○	○	－	○
21	大正町街区公園	能代市末広町273	89-2197	○	○	○	○
22	萩の台街区公園	能代市末広町298	89-2197	○	○	○	○
23	栄町街区公園	能代市栄町274	89-2197	○	○	－	○

緊急避難場所

No	施設・場所名	所　在	電話番号	洪水	土砂	津波	地震
24	昭南町街区公園	能代市昭南町113	89-2197	○	○	○	○
25	花園街区公園	能代市花園町1	89-2197	○	○	○	○
26	出戸街区公園	能代市出戸本町187	89-2197	○	○	○	○
27	出戸小街区公園	能代市出戸本町248	89-2197	○	○	○	○
28	明治町街区公園	能代市明治町126	89-2197	－	○	○	○
29	大瀬街区公園	能代市字大瀬儘下21-7	89-2197	－	○	○	○
30	向能代小学校グラウンド	能代市向能代字上野越25-1	52-6249	○	○	○	○
31	東雲中学校グラウンド	能代市向能代字トトメキ106-1	52-5119	○	○	○	○
32	旧竹生小学校グラウンド	能代市竹生字竹生18-1	89-1343	○	○	○	○
33	旧朴瀬小学校グラウンド	能代市朴瀬字二林台65-1	52-2725	○	○	○	○
34	旧日影小学校グラウンド	能代市朴瀬字日影71-2	73-2757	○	○	○	○
35	能代球場前	能代市落合字下台3	54-3607	○	○	－	○
36	向ヶ丘街区公園	能代市落合字中大野台1-163	89-2197	○	○	○	○
37	落合１号街区公園	能代市落合字落合150	89-2197	○	○	－	○
38	落合２号街区公園	能代市落合字上前田198	89-2197	○	○	－	○
39	落合３号街区公園	能代市落合字下前田204	89-2197	○	○	－	○
40	落合４号街区公園	能代市落合字下悪土150	89-2197	○	○	－	○
41	落合５号街区公園	能代市落合字上釜谷地280	89-2197	－	○	－	○
42	落合近隣公園	能代市落合字古釜谷地72	89-2197	○	○	－	○
43	落合球技場	能代市落合字古悪戸1-1	54-3607	－	○	－	○
44	落合第二球場	能代市落合字古悪戸1-1	54-3607	－	○	－	○
45	ソフトボール場第一	能代市落合字古悪戸1-1	54-3607	－	○	－	○
46	ソフトボール場第二	能代市落合字古悪戸1-1	54-3607	－	○	－	○
47	浅内小学校グラウンド	能代市浅内字上ノ山236	52-4715	○	○	○	○
48	能代南中学校グラウンド	能代市河戸川字中野241	52-6452	○	○	○	○
49	第五小学校グラウンド	能代市鰄渕字中嶋古屋布25	58-2178	－	○	○	○
50	能代東中学校グラウンド	能代市扇田字東扇田251-1	58-3050	○	○	○	○
51	旧崇徳小学校グラウンド	能代市檜山字寺田4-9	58-5004	○	－	○	○
52	檜山地域拠点施設	能代市檜山字霧山下104	58-3101	○	○	○	○
53	鶴形地域拠点施設	能代市字町後16	58-3211	○	－	○	○
54	旧常盤小学校グラウンド	能代市常盤字堂回90	59-2004	－	○	○	○
55	旧常盤中学校グラウンド	能代市常盤字堂回90	59-2005	－	○	○	○
56	田ノ沢生活改善センター	能代市二ツ井町梅内字様の下96-3	73-6212	○	－	○	－
57	大畑公民館	能代市二ツ井町梅内字大畑無番地	73-6093	○	－	○	－
58	馬子岱集会所	能代市二ツ井町梅内字馬子岱48-1	73-2590	○	－	○	－
59	大渕泥ノ木部落公民館	能代市二ツ井町梅内字来万無番地	73-6169	○	－	○	－
60	梅内聚落会館	能代市二ツ井町梅内字前田160	73-6294	○	－	○	－
61	悪戸集落営農センター	能代市二ツ井町梅内字白岩新田無番地	73-3658	－	－	○	－
62	外面部落集会所（児童館）	能代市二ツ井町種字外面29-1	73-4560	－	○	○	－
63	旧種梅小学校	能代市二ツ井町種字下樋ノ口15-1	73-2757	○	○	○	－
64	旧種梅小学校グラウンド	能代市二ツ井町種15-1	73-2757	○	○	○	○
65	種公民館	能代市二ツ井町種字熊野堂前145-2	73-5603	○	○	○	－
66	鎌谷公民館	能代市二ツ井町種字鎌谷沢出口無番地	73-3148	－	－	○	－
67	旧天神小学校	能代市二ツ井町小繋字天神道上38-1	73-2757	－	－	○	－
68	旧天神小学校グラウンド	能代市二ツ井町小繋字天神道上38-1	73-2757	－	－	○	－
69	麻生会館	能代市二ツ井町麻生字麻生46-1	73-4979	－	○	○	－
70	下田平集会所	能代市二ツ井町麻生字綱前54	73-2366	○	○	○	－
71	切石コミュニティセンター	能代市二ツ井町切石字山根64-4	73-4740	○	○	○	－
72	切石老人集会所	能代市二ツ井町切石字山根61-1	73-4740	○	－	○	－
73	旧切石小学校	能代市二ツ井町切石字大倉175	73-2757	○	○	○	－
74	旧切石小学校グラウンド	能代市二ツ井町切石字大倉175	73-2757	○	○	○	○
75	苅又石地区集会所	能代市二ツ井町苅又石字大沢掛112-1	73-6118	○	○	○	－
76	昭和新田部落集会所	能代市二ツ井町飛根字中道下悪戸無番地	75-2335	－	○	○	－
77	羽立新田部落集会所	能代市二ツ井町飛根字羽立新田無番地	75-2763	－	○	○	－
78	旧富根小学校	能代市二ツ井町飛根字高清水304	73-2757	－	○	○	－
79	旧富根小学校グラウンド	能代市二ツ井町飛根字高清水304	73-2757	－	○	○	○
80	羽立部落会館	能代市二ツ井町飛根字羽立169	75-2113	－	○	○	－
81	富田公民館	能代市二ツ井町飛根字富田無番地		－	○	○	－
82	大林部落集会所	能代市二ツ井町飛根字大林無番地	75-2417	－	○	○	－
83	駒形部落集会所	能代市二ツ井町駒形字出口115-2	75-2856	○	○	○	－
84	矢崎集会所	能代市二ツ井町駒形字矢崎無番地	75-2460	○	○	○	－
85	ニツ井中学校グラウンド	能代市二ツ井町字下野76-2	73-2711	－	○	○	○
86	能代高等学校定時制課程グラウンド	能代市二ツ井町字五千苅20-1	73-3511	－	○	○	○
87	ニツ井小学校グラウンド	能代市二ツ井町字上台25-1	73-2341	－	○	○	○
88	旧ニツ井小学校グラウンド	能代市二ツ井町字滑良子川端40-1	73-2757	－	○	○	○
89	ニツ井児童館	能代市二ツ井町字下野家後82-2	73-5500	－	○	○	－
90	ニツ井球場	能代市二ツ井町字稗川原113	73-6200	－	○	○	○
91	桜づつみ公園	能代市二ツ井町荷上場米代川右岸	73-5300	－	○	○	○
92	道の駅ふたつい	能代市二ツ井町小繋字泉51	73-2112	－	○	○	○
93	旧仁鮒小学校	能代市二ツ井町仁鮒字後山52-1	73-2757	○	－	○	○
94	旧仁鮒小学校グラウンド	能代市二ツ井町仁鮒字後山52-1	73-2757	○	－	○	○
95	仁鮒部落集会所	能代市二ツ井町仁鮒字家後無番地	73-5176	○	○	○	－
96	中台自治会館	能代市二ツ井町仁鮒字中台無番地	73-4503	○	－	○	－
97	鬼神公民館	能代市二ツ井町小掛字堰根台22-1	74-2527	○	－	○	－
98	小掛部落会館	能代市二ツ井町小掛字下田表2	74-2555	○	－	○	－
99	ニツ井公民館濁川分館	能代市二ツ井町濁川字濁川145-1	73-2590	○	－	○	－
100	田代上部落集会所	能代市二ツ井町田代字水沢無番地	74-2647	○	○	○	－
101	旧田代小学校	能代市二ツ井町田代字泥ノ木岱212	73-2757	○	○	○	－
102	旧田代小学校グラウンド	能代市二ツ井町田代字泥ノ木岱212	73-2757	○	○	○	○
103	田代生活改善センター	能代市二ツ井町田代字泥ノ木岱122-1	74-2824	○	－	○	－
104	本田代集会所	能代市二ツ井町田代字胡麻木岱73-3	74-2839	○	○	○	－

要配慮者施設

No	施設・場所名	所　在	電話番号
1	のしろケアセンターそよ風	能代市落合古悪土1-228	89-5161
2	能代市社会福祉協議会二ツ井デイサービスセンター	能代市二ツ井町字三千苅44-34	73-3801
3	能代市緑町デイサービスセンター	能代市緑町7-17	89-2700
4	デイサービスだんらん	能代市落合字古悪土1-217	74-5301
5	デイサービス彩べえ	能代市落合字上釜谷地185	88-8212
6	デイサービスセンターよねしろ通所介護事業所	能代市二ツ井町字下野家後145	73-6661
7	デイサービスセンターしらかみ	能代市字悪土115-9	58-2816
8	JCHO秋田病院付属介護老人保健施設	能代市緑町5-47	52-6600
9	株式会社　しらかみ長寿の里　ショートステイしらかみ	能代市落合字古悪土1-217	89-5631
10	ショートステイゆかり能代	能代市能代町字中川原25-8	55-0830
11	ショートステイよねしろ短期入所生活介護事業所	能代市二ツ井町字下野家後145	73-6666
12	ショートステイウエルネスせき	能代市二ツ井町荷上場字鍋良子出口53	71-0071
13	介護老人保健施設　ケアネットのしろ	能代市落合字上悪土207	52-8882
14	小規模多機能型居宅介護事業所　わか杉の郷	能代市二ツ井町仁鮒字家後34-3	71-1515
15	グループホーム母恵夢	能代市能代町字中川原26-984	54-3270
16	グループホームまつ風	能代市浜通町4-52	54-4800
17	グループホームさくら荘	能代市字轟34-3	70-2116
18	グループホームおちあい	能代市落合字上釜谷地187-2	52-8212
19	能代市緑町グループホーム	能代市緑町7-17	54-8511
20	グループホームまつかさ園	能代市二ツ井町字下野家後95-19	71-0087
21	グループホームほしぞら	能代市二ツ井町字下野10-2	71-0133
22	グループホーム和み	能代市二ツ井町飛根字高清水265	75-2006
23	よねしろ	能代市二ツ井町字下野家後145	73-6666
24	松籟荘	能代市緑町9-41	52-6149
25	ことりの郷	能代市落合字亀谷地１－９１	88-8401
26	笑の樹	能代市西赤沼31	74-6071
27	能代市生活支援ハウス	能代市二ツ井町字三千苅44-34	73-3801
28	ケアハウスきみまち	能代市二ツ井町字下野家後145	73-6666
29	あかつきの星	能代市能代町中川原33-5	88-8173
30	サービス付高齢者向け住宅シニアホームわがや	能代市落合字古悪土1-217	74-5303
31	サービス付高齢者向け住宅あかつきの芽	能代市能代町中川原33-113	74-6188
32	心愛の郷	能代市字下瀬26-1	54-4887
33	シニアパンション能代・西大瀬	能代市字西大瀬30-20	89-0660
34	ホープハウス	能代市字養蚕脇19-8	53-3611
35	なかよし福寿草	能代市落合字古悪土130	52-3920
36	能代松陽高等学校	能代市緑町4-7	89-2021
37	第五小学校	能代市鰄渕字中嶋古屋布25	58-2178
38	二ツ井中学校	能代市二ツ井町字下野76-2	73-2711
39	能代高等学校定時制課程	能代市二ツ井町字五千苅20-1	73-3511
40	二ツ井児童館	能代市二ツ井町字上台１番地1	73-5500
41	二ツ井子ども園	能代市二ツ井町字下野川端2-1	73-2620
42	第四保育所	能代市字東大瀬54-1	54-6044
43	轟保育園	能代市字轟73-2	59-2342
44	関医院	能代市二ツ井町荷上場字鍋良子出口102	73-2811
45	金田医院	能代市二ツ井町字比井野94	73-2511
46	JCHO秋田病院	能代市緑町5-22	52-3271
47	わたなべ整形外科	能代市落合字上悪土207	52-8881
48	島田病院	能代市西赤沼14-4	52-5363
49	瀬川医院	能代市万町7-23	54-3322
50	後藤内科医院	能代市大瀬儘下6-52	55-0500
51	在宅障害者支援施設　とらいあんぐる	能代市万町10-4	89-6333
52	富根診療所	能代市二ツ井町飛根字前田33-3	73-5500
53	高齢者ふれあい交流施設「ゆっちゃん」	能代市二ツ井町字下野家後97	73-5500
54	しおさい	能代市浜通り町3-21	74-7033

福祉避難所

No	施設・場所名	所　在	電話番号	洪水	土砂	津波	地震
1	秋田県立能代支援学校	能代市真壁地字トトメキ字沢135	55-0691	○	○	○	○
2	指定障害福祉サービス事業所ねむの木苑	能代市落合字古釜谷地26	52-9057	○	○	○	○
3	養護老人ホーム松籟荘	能代市緑町9-41	52-6149	－	○	○	○

家族の集合場所や連絡先を記入しましょう。

集合場所

災　害　別	一時避難場所(集合場所)	避難先(第一候補)	避難先(第二候補)
地　　震			
河川の氾濫			
土砂災害			
家族が離散しているときの集合場所			

家族の連絡先等

氏　　名	血液型	電話番号(携帯・会社・学校)	メールアドレス	メ　　モ

主な連絡先

連絡先	電話番号
能代市役所本庁舎	52-2111
能代市役所本二ツ井町庁舎	73-2111

連絡先	電話番号
能代市消防署	52-3311
二ツ井消防署	73-2327

連絡先	電話番号
能代警察署	52-4311
二ツ井交番	73-3046

本書に掲載した地図の一部は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R5JHs 552」

発行：能代市総務部総務課 防災危機管理室 0184-24-6238　令和６年３月